CLAiR

地上デジタルチューナー内蔵
13.3 型デジタルハイビジョンテレビ
ユーザーズガイド

http://www.sknet-web.co.jp/

RoHS

SK-DTV133JW

Version1.0

目次

##

安全上のご注意

ご使用の前に必ずお読みください。

本取扱説明書では、使用者や他人への危害や財産の損害を未然に防止するため以下のような記号表記を使用しています。内容をよくご理解のうえ本文をお読みください。

⚠警告	表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示します。
⚠注意	表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が障害を負う可能性が想定される内容および物的損害の発生が想定される内容を示します。
⃠	禁止（してはいけないこと）を示します。
●	指示（必ずすること（強制））を示します。
△	注意（気をつけてほしいこと）を示します。

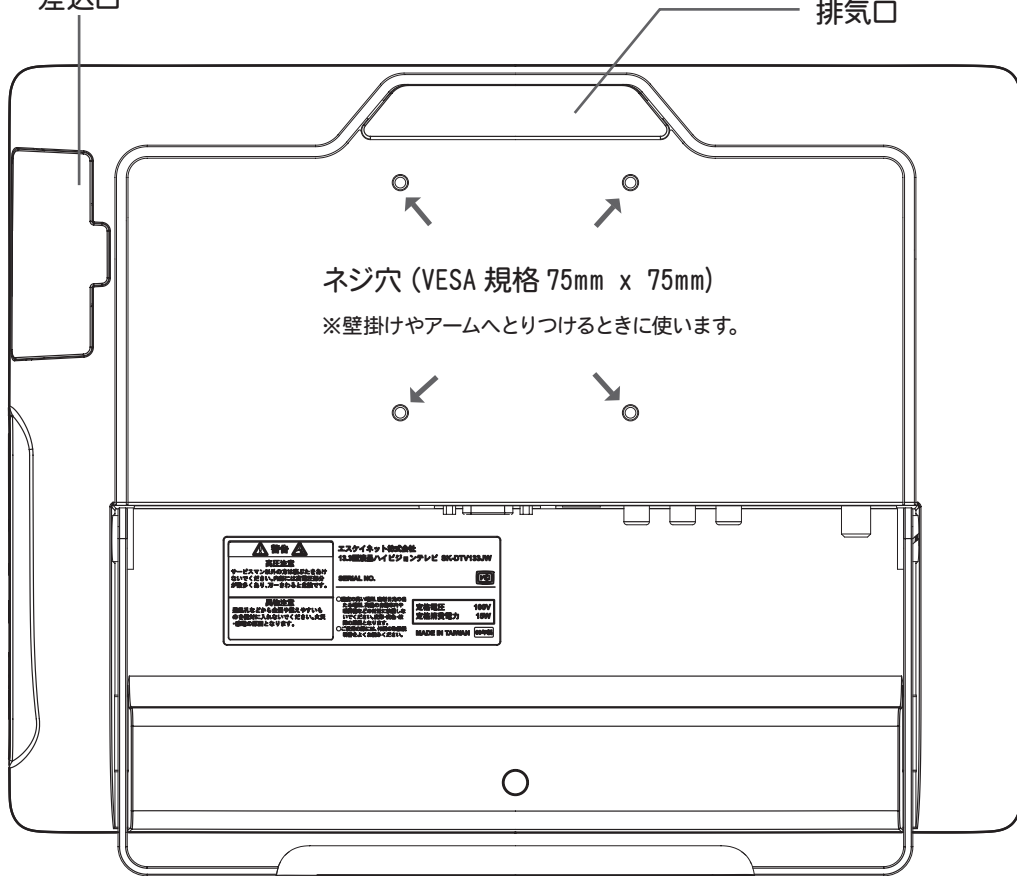
異常や故障のとき ⚠警告	■煙がでたり、異常なにおいがしたり、水に濡らしたときは、すぐに電源プラグをコンセントから抜いてください。 ■電源が入ったまま落としたり強い衝撃を与えたりしたときは、すぐに電源プラグをコンセントから抜いてください。 ■電源コードの被覆が剥がれるなどコードやプラグ傷んだりしたときは、 電源プラグをコンセントから抜いてください。
使用するとき ⚠警告	■お子様の手の届かないよう充分にご注意ください。 ■強い衝撃を与えたり、投げたり、濡らしたりしないでください。 ■分解や改造しての使用は、感電や火災・接続機器への損傷の原因となりますので、絶対にしないでください。
設置するとき ⚠警告	■製品に付属または弊社より提供されるアンテナやアクセサリ以外のものは接続しないでください。 ■炎天下や冷暖房器具などの送風口近くに設置すると、本体が高温になりやけどや故障の原因となります。これらの場所では使用しないでください。
AC アダプタと 電源コードについて ⚠警告	■電源プラグを抜くときは、コードを引っ張らないでください。 ■ AC アダプタの電源プラグは濡れた手で抜き差ししないでください。 ■ AC アダプタは必ず本製品付属のものをご使用ください。 ■通電中の AC アダプタを暖めたり、布や布団をかぶせるなどして保温しないでください。

取り扱いについて	■本製品は「外国為替および外国貿易法」に基づき日本政府の輸出許可申請などの手続きが必要になる場合があります。
設置場所について ⚠注意	■車の中などの高温や寒冷になる場所に長時間放置しないでください。 ■高温多湿の場所では使用しないでください。
結露について ⚠注意	■温度が低い部屋を急に暖めたりしたときや湿度の高い場所に置いたときなどに結露（露付き）が生じます。結露は本機内部の部品を傷めたり故障の原因になることがあります。結露がおきそうなときは、電源プラグを抜いて本機をしばらく放置して内部の水滴が乾いてからご使用ください。
保守・お手入れについて	■本製品のサービスおよびサポートは日本国内の使用に限ります。本製品を日本国外で使用された場合の本製品に関する日本国外への技術サービス、およびアフターサービスなどは行っておりません。あらかじめご了承ください。
廃棄について	■お客様は本製品およびその使用権の第三者に対する再使用許諾、譲渡、移転またはその他の処分を行うことはできません。
免責事項について	■本製品を使用した結果の他への影響に関して、弊社では一切の責任を負いかねます。本製品をご利用頂いた時点で、ご了承頂いた事とさせて頂きます。 ■推奨動作環境を満たす場合でも、全ての動作を保障するものではありません。 ■テレビやビデオなどの映像は一般に著作権法で保護されています。これらの映像は個人で楽しむ以外に利用しないでください。 ■本製品を使用して記録、配信した内容に関して、弊社では一切の責任を負いません。 ■本製品は医療機器、原子力設備や機器、航空宇宙機器、輸送設備や機器など人命に関する設備や機器、および高度な信頼性を必要とする設備や機器としての使用、またはこれらに組み込まれて使用されるように意図されていません。これらの設備や機器、制御システムなどに本製品を使用され、本製品の故障などにより、人身事故、火災事故や社会的な損害などが生じても、弊社ではいかなる責任も負いかねます。設備や機器、制御システムなどにおいて、冗長設計、火災炎症対策設計や誤作動防止設計など、安全設計に万全を期されるようご注意ください。 ■本製品は、日本国内用仕様です。本製品は日本国外で使用はできません。本製品は日本国内の地デジの電波が受信できる範囲でのみご使用できます。 ■マニュアルに掲載されている商品名 / 社名などは、一般に各社の商標ならびに登録商標です。本文中における R および TM は省略させていただきました。 ■本製品および本書の内容は、改善のため予告なく変更する場合があります。 ■本製品および本書は、エスケイネット株式会社の著作物です。本製品および本書の一部または全部を無断で複製、複写、改変することは法律で禁じられています。
操作説明と実際の動作	■受信状況によっては十分な性能を発揮できない場合があります。

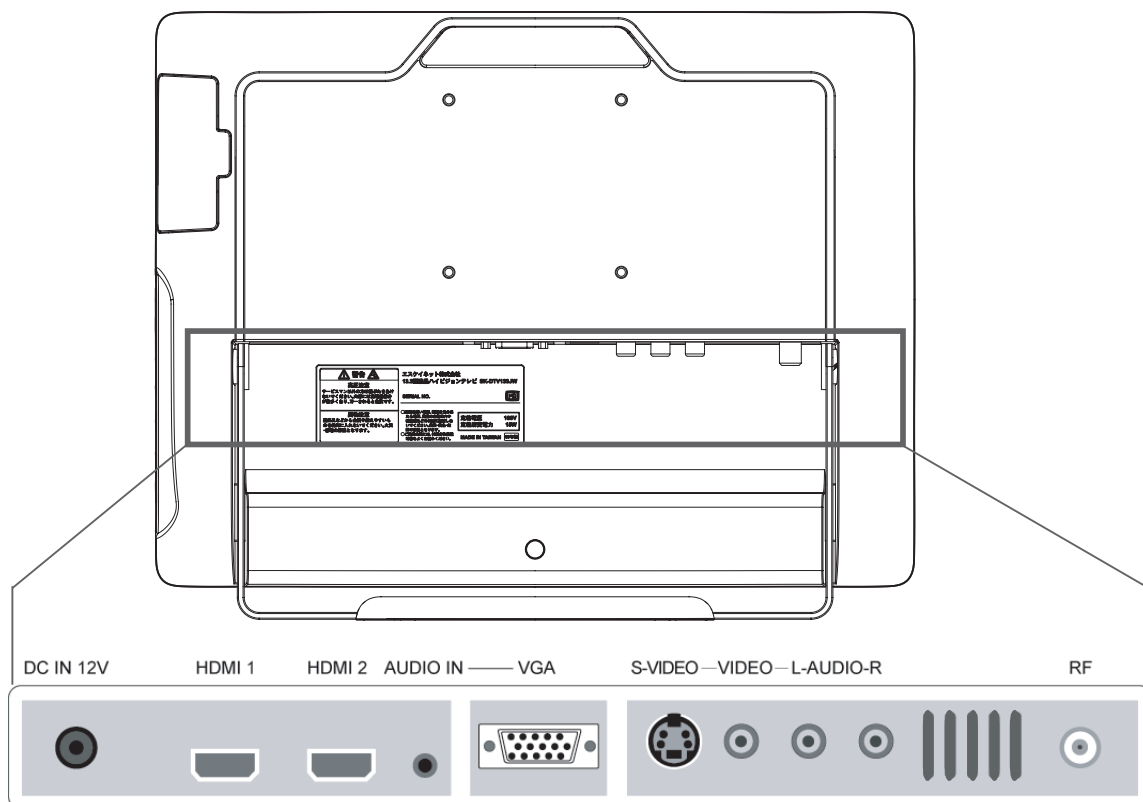
各部の名称と機能

本体

スタンドは必ず開いてお使いください。転倒や落下などでけがや故障の原因となります。

背面

タッチセンサーボタン
※軽く触れるだけで反応します。電源ボタンは 3 秒間長押ししたときだけ動作します。

入力切替	リモコンの入力切替ボタンと同じ動作をします。
OSD メニュー表示	リモコンの本体設定ボタンと同じ動作をします。
上移動， チャンネル＋	リモコンのチャンネル＋と同じ動作をします。
下移動， チャンネル－	リモコンのチャンネル－と同じ動作をします。
音量大	リモコンの音量＋と同じ動作をします。
音量小	リモコンの音量－と同じ動作をします。
電源ボタン	リモコンの電源ボタンと同じ動作をします。

背面端子

RF	アンテナ線を接続します。
Audio R	外部再生機器の音声ケーブル右（赤）を接続します。
IN L	外部再生機器の映像ケーブル左（白）を接続します。
VIDEO	外部再生機器の映像ケーブル（VIDEO）を接続します。
S-VIDEO	外部再生機器の映像ケーブル（S-VIDEO） を接続します。
VGA	パソコンの RGB ケーブルを接続します。
AUDIO IN	パソコンの音声ケーブルを接続します。
HDMI2	HDMI 端子が付いている機器と HDMI ケーブルで接続します。
HDMI1	HDMI 端子が付いている機器と HDMI ケーブルで接続します。
DC IN 12V	付属の専用 AC アダプタを接続します。

リモコン

入力切替ボタン

P15

入力機器メニューを表示します。

音量 +/- ボタン

P27

スピーカーやヘッドフォンの音の増減をします。

3 桁入力ボタン

P26

3 桁の数字入力のときに使います。

TV メニューボタン

P17

受信設定やリモコンの設定をします。

番組表ボタン

P28

番組表を表示します。

番組情報ボタン

P28

番組情報を表示します。

映像切替ボタン

P31

映像を切り替えます。

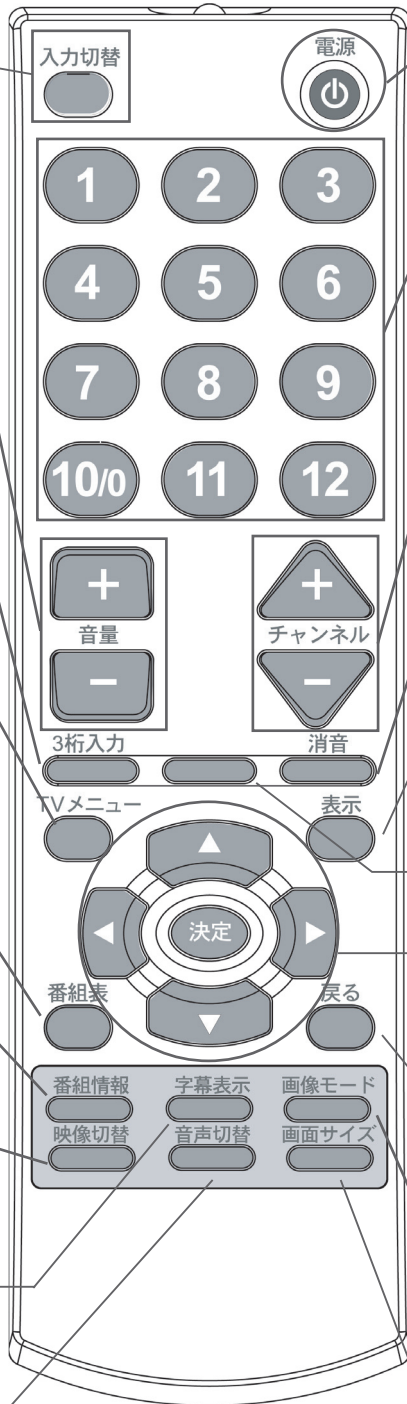
字幕表示ボタン

P30

字幕を表示します。

音声切替ボタン

P31

音声を切り替えます。

電源ボタンP13

電源の入 / 切をします。

番号 / 数字ボタン

P25

チャンネル番号の入力や各種設定に使います。

チャンネル +/- ボタン

P25

チャンネルの切り替えをします。

消音ボタンP27

一時的に音量を 0 にして無音にします。

表示ボタン

現在のチャンネルや入力機器を表示します。

本体設定ボタン

各種設定を行います。

▲▼ / 決定ボタン

メニュー画面で選び、決定するときに使います。

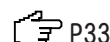
戻るボタン

設定終了時や番組視聴に戻るときに使います。

画像モードボタン

P32

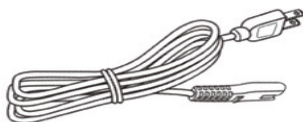
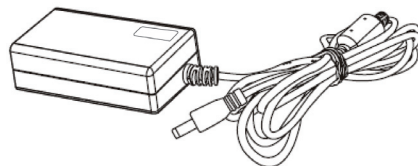
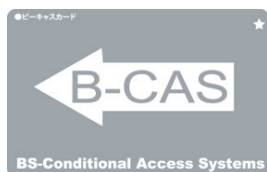
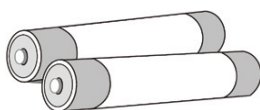
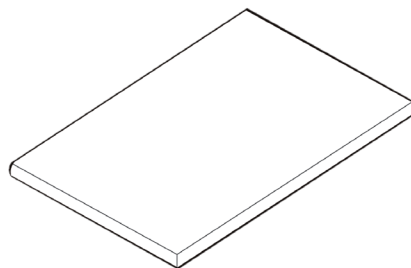
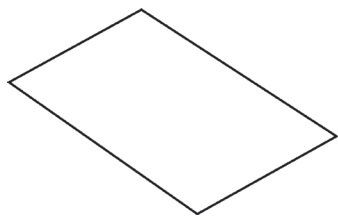
番組に適した画質を選びます。

画面サイズボタン

P33

お好みの画面サイズを選びます。

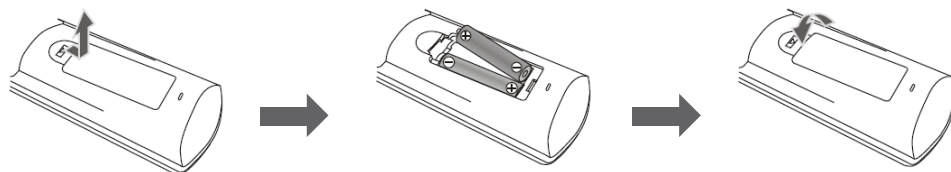
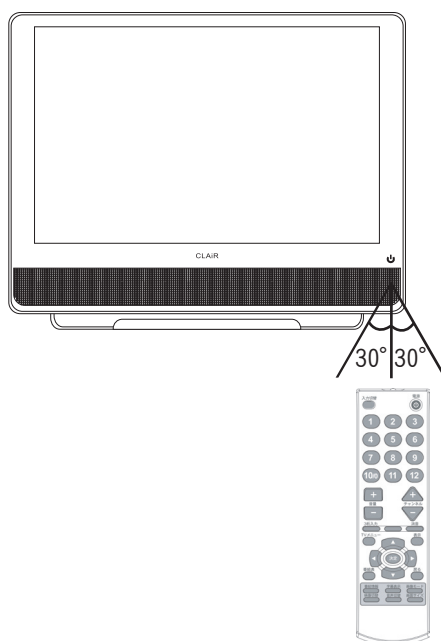
リモコンは本体正面の受光部に向けてボタンを押して下さい。

付属品

リモコン　１個

専用電源ケーブル　１個

AC アダプタ　１個

B-CAS カード　　１枚

単四型乾電池　２個

ユーザーズガイド　１冊

保証書 / ユーザー登録用紙　１部

リモコンの準備

乾電池のセット

ふたを外して付属の乾電池を入れます。
※乾電池の＋－の向きを、正しくセットしてください。

リモコン操作の範囲

リモコン動作距離

TV 本体受光部の正面から約３m以内

動作角度

TV 本体受光部の正面から上下左右約３０°以内

リモコン使用上の注意

落としたり、強い衝撃を与えないでください。
受光部の正面から操作してください。
動作しなかったり動作距離が短くなったときは、乾電池を新しいものと交換してください。
古い乾電池と新しい乾電池を混ぜて使用しないでください。
高温になる場所、湿度の高い場所、凍結する場所に置かないでください。
水に濡らさないでください。
長期間使用しないときは、乾電池を取り外してください。
分解しないでください。

乾電池の取り扱い上の注意

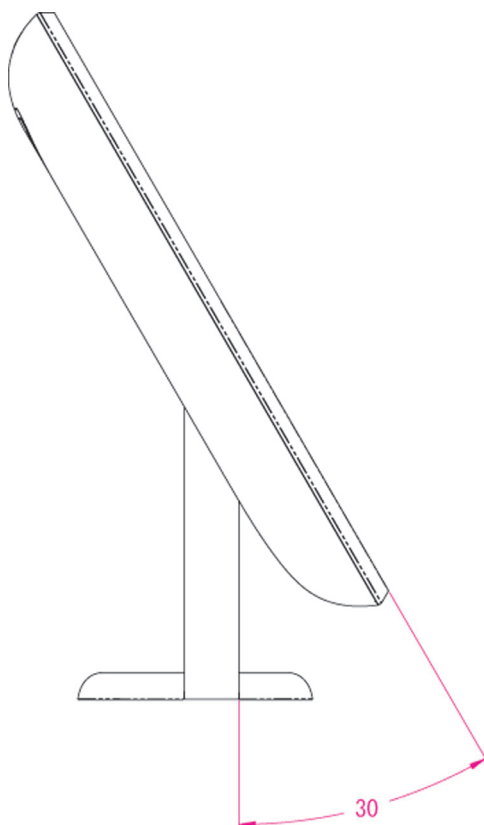
乾電池を加熱したり、火や水の中に投入しないでください。
使用期限を過ぎた乾電池は使わないでください。
切れた乾電池を長期間入れたままにしないでください。

設置のしかた

安定した水平な場所に置いてください。
滑りやすい場所では敷物を敷くなどし、直接置くことは避けてください。
本機は壁掛けでの使用や、ディスプレイアームに取り付けて使用することもできます。
取り付け方の詳細は＞＞p 58 をご覧ください。

スタンドの角度調整

本体下部のスタンドを開き、角度を変えて見やすい画面位置に調節します。

角度０°～　３０°

注意

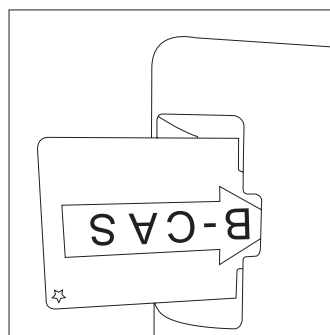
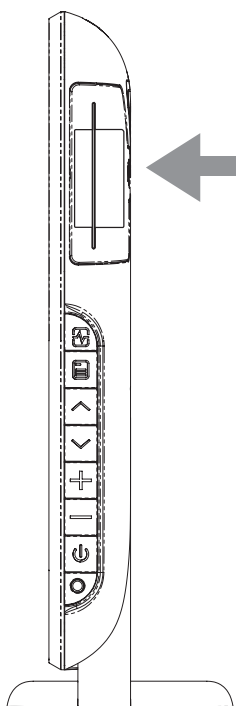
スタンドは開いた状態で設置をしてください。
スタンドを持って運んだり持ち上げたりしないでください。

B-CAS カードを入れる

同梱の B-CAS（ビーキャス）カードは、地上波デジタル放送の受信や、「放送局からのお知らせ」を受信する際に必要です。常時、挿入したままご使用ください。
B-CAS（ビーキャス）カードの登録のしかたや取り扱いについては、同梱の B-CAS（ビーキャス）カードに付属する説明書をご覧ください。

B-CAS（ビーキャス）カードの入れ方

電源を切った状態で B-CAS（ビーキャス）カードを本機に差し込みます。

B-CAS（ビーキャス）カードの破損、紛失、盗難、登録名義の変更、および不要になった際の廃棄などの場合は（株）ビーエス・コンディショナルアクセスシステムズにご連絡ください。
お問い合わせ先については、同梱の B-CAS（ビーキャス）カードに付属する説明書をご覧ください。地上波デジタル放送は、UHF アンテナで受信する場合のほかに、CATV（ケーブルテレビ）で配信する場合もあります。
CATV（ケーブルテレビ）局のサービスを通じて地上波デジタル放送をご利用の場合は、ご契約の CATV 局が用意した B-CAS/C-CAS カードを挿してください。
詳しくは、お住まいの地域のケーブルテレビ局、または集合住宅管理者や管理組合にお問い合わせください。

B-CAS カード挿入方向

※本機では、「B-CAS」表記が
逆さになるよう差し込んでください。

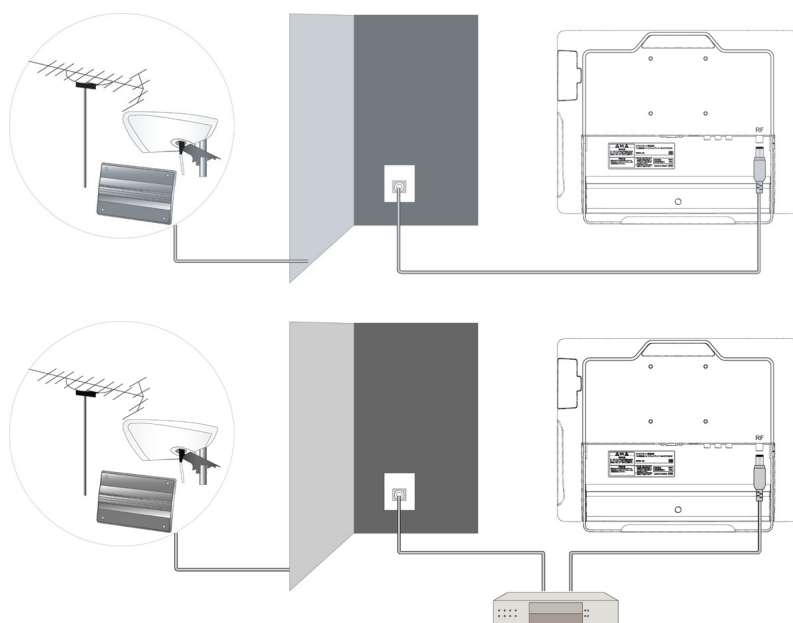
注意

B-CAS（ビーキャス）カードを折り曲げたり、変形させたりしないでください。
B-CAS（ビーキャス）カードの表記に従って正しい向きで差し込んでください。
裏向きや逆方向で無理に差し込まないでください。
抜き差しする際は、ゆっくり差し込む、またはゆっくり引き抜いてください。
電源が入った状態で引き抜かないでください。
B-CAS（ビーキャス）カードを抜く場合は電源を切り、コンセントから電源プラグを抜いた状態で行ってください。

アンテナの接続

本機は地上デジタルチューナーを内蔵しています。
地上デジタル放送を受信するため、地上デジタル放送用アンテナ（UHF アンテナ）を本機に接続します。本機の電源を切り、コンセントを抜いた状態で以下のようにアンテナを接続します。

CHECK!!

UHF アンテナが設置済みの場合でも、アンテナの交換やアンテナの方位変更が必要になる場合があります。定期的に UHF アンテナケーブルを点検し傷んだ場合は新しいものと交換してください。特にばい煙の多い地域、海に近い地域、温泉地域ではケーブルが傷みやすくなります。

※市販の同軸 RF ケーブルをお使いください。

注意

アンテナを接続するときは本機の電源を切り、電源プラグをコンセントから抜いた状態で接続してください。
接続する前に、アンテナケーブル（同軸ケーブル）端のコネクタ内部のピンが曲がってないか確認してください。
コネクタ内部のピンが曲がったまま本機の端子に押し込まないでください。
アンテナケーブルはデジタル機器からできるだけ遠ざけてください。受信障害の原因になることがあります。

AC アダプタの接続

電源コンセント、AC アダプタ、本機を以下のように接続します。

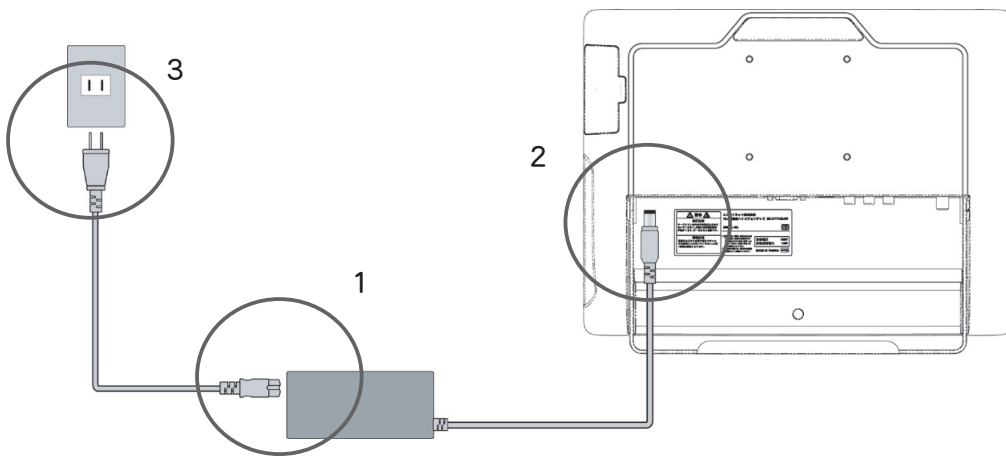
1　付属の AC アダプタと電源ケーブルをつなぎます。

奥までしっかり押し込んでください。

2　本機背面の DC　IN 端子と AC アダプタの AC コネクタをつなぎます。

奥までしっかり押し込んでください。

3　AC100V のコンセントに電源ケーブルの電源プラグを差し込みます。

コンセントにホコリや汚れがある場合は清掃してから差し込んでください。

必ず家庭用交流 100V のコンセントを使用してください。
それ以外の電源を使用した場合、故障、内部破壊、火災、感電の恐れがあります。
付属の本機専用の AC アダプタと電源ケーブルをご使用ください。
長期間本機を使用しないときは、電源コンセントから電源ケーブルを抜いてください。

電源の入れ方 / 切り方

電源を入れる

電源が切れている状態でリモコンの電源ボタン、または本体側面の電源ボタンに触れて電源を入れます。本体の電源インジケータが青色に光ります。

本体のボタンはタッチセンサー式です。軽く触れるだけで動作します。
また、本体ボタンで電源を入れるときは、３秒程度長く触れてください。

電源を切る

電源が入っている状態でリモコンの電源ボタン、または本体側面の電源スイッチに触れて電源を切ります。
画面が消え、電源インジケータが点滅します。
2 ～ 3 秒電源インジケータが点滅した後で消え、電源が切れます。

本体のタッチセンサーボタンで電源を切るときは、３秒程度長く触れてください。

コンセントに電源プラグが差し込まれ電源給電されていれば「スタンバイ（待機状態）」になります。再び電源を入れるときはリモコンの電源ボタンで電源を入れることができます。

電源を切った直後に再び電源ボタンを押しても数秒間は反応しません。
再びすぐに電源を入れるときは、電源を切ってから数秒間待ってから電源を入れてください。

スタンバイ（待機状態）

スタンバイ（待機状態）とは、コンセントに電源プラグが差し込まれ電源給電されていて、
リモコンまたは本体の電源ボタンで電源を切っている状態のことです。
スタンバイ（待機状態）のときは、本体前面の電源インジケータは消えています。

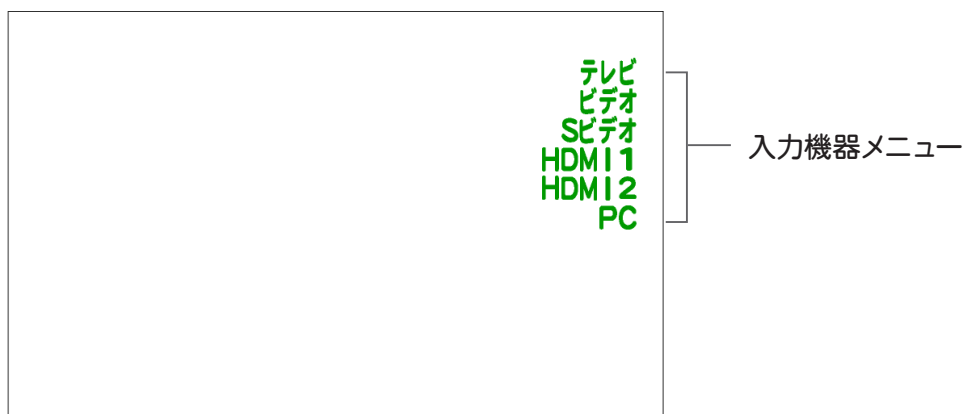
電源状態表

点灯色	状態	説明
青	電源入	TV 聴視等、本機を使用している状態
消灯	スタンバイ(待機)	電源が切れている状態 コンセントに電源プラグが差し込んであり、給電している リモコンの電源ボタンで電源を入れることができる
消灯	電源切	電源が切れている状態 コンセントに電源プラグを差し込んでなく、給電していない
点滅	ダウンロード	電源が切れている状態 コンセントに電源プラグが差し込んであり、給電している 番組表やソフトウェアなどのデータのダウンロード中 リモコンの電源ボタンで電源を入れることができる （ダウンロードは中断します。）

スタンバイ（待機状態）では 3W-4W の電力を消費しています。
電源プラグをコンセントから引き抜けば「スタンバイ（待機状態）」は解除され、完全に電源が切れます。
完全に電源が切れた状態でも本機は電源を切る直前の状態やさまざまな設定情報は保持しています。
ダウンロードはスタンバイ（待機状態）から自動的に起動して行われます。
ダウンロードが終了すれば自動的にスタンバイ（待機状態）に戻ります。

入力機器を切り替える

リモコンの［ 入力切替 ］ボタン、または本体側面の ボタンを押すと、画面右上に入力機器メニューが表示されます。

［ ↑ ］［ ↓ ］ボタンを押して切り替えたい入力を選び、［ 決定 ］ボタンを押します。
または、本体の［ ︿ ］［ ﹀ ］に触れて切り替えたい入力を選び、 ボタンで決定します。

画面が切り替わり、選択した機器の映像が表示されます。
地上デジタル放送を見たいときは、［ テレビ ］を選び［ 決定 ］ボタンを押します。

電源ボタンで電源を切って「スタンバイ（待機状態）」になっても直前の状態を保持しています。
次回、電源を入れたときはチャンネル、音量、各種設定などは前回のままで起動します。

本機で受信できるテレビ放送

本機に内蔵しているテレビチューナーは地上デジタル放送に対応しています。

地上アナログ放送、BS アナログ放送、BS・110 度 CS デジタル放送、ワンセグ放送の受信はできません。

地上デジタル放送の特徴

地上デジタル放送は、従来の地上波 UHF 放送（13ch － 62ch）の周波数帯域を使用しており、新しいデジタル技術を活用しているために従来のアナログ放送受信機では見ることができません。しかし、地上デジタル放送はデジタル技術を駆使した新しい機能や高度な機能など魅力が満載です。
本機が装備する地上デジタルチューナーで高画質（ハイビジョン）、高音質（デジタル・オーディオ、サラウンド、多チャンネル）、など最新の地上デジタル放送の世界をおたのしみください。

デジタル放送への移行

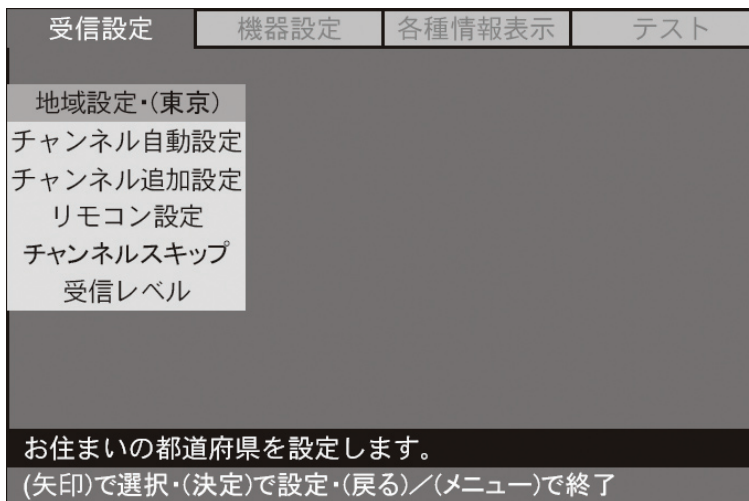
地上デジタル放送へ移行するための諸政策と送受信環境の整備が全国的に急ピッチで進んでいます。同時に、現行のアナログテレビ放送は 2011 年 7 月 24 日までに終了することが政策として決まっています。

チャンネル設定のしかた

準備

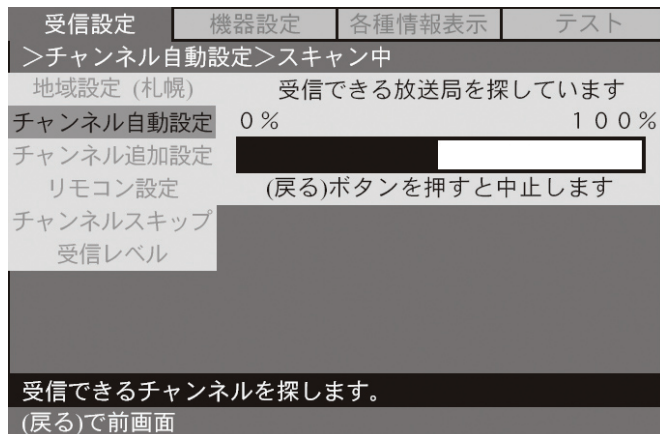
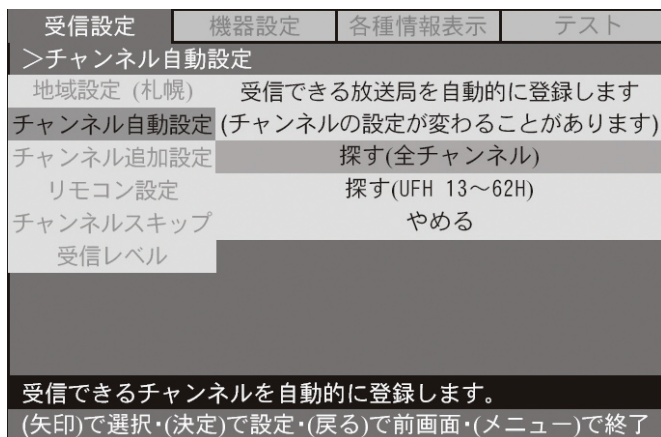
電源を入れ、[入力切替] ボタンでメニューを表示し、[テレビ] を選び [決定] ボタンを押します。

受信設定

[TV メニュー] ボタンでメニューを表示し、[受信設定] から [地域設定] を選び、[決定] を押します。
お住まいの地域の地上デジタル放送を受信するために地域設定をします。

[↑][↓] ボタンでお住まいの都道府県を選び [決定] ボタンを押します。
地上デジタル放送波を正しく受信するために必要な情報なので必ず設定してください。

引き続き受信できる放送局の自動スキャンを行います。

自動スキャン

自動的に受信可能な放送波信号をスキャンしてチャンネル番号と放送局を設定します。
[TV メニュー] ボタンでメニュー画面を表示し、[受信設定] から「チャンネル自動設定」 を選び [決定] を押します。
[探す (全チャンネル] を選び、[決定] を押します。
自動的にチャンネル設定をするために、受信可能な信号のスキャンが始まります。

スキャンが終了するまでしばらくお待ちください。

スキャンが終了すると［更新する］か［やめる］かを選択するよう聞いてきますので［更新する］を選び、［決定］を押します。

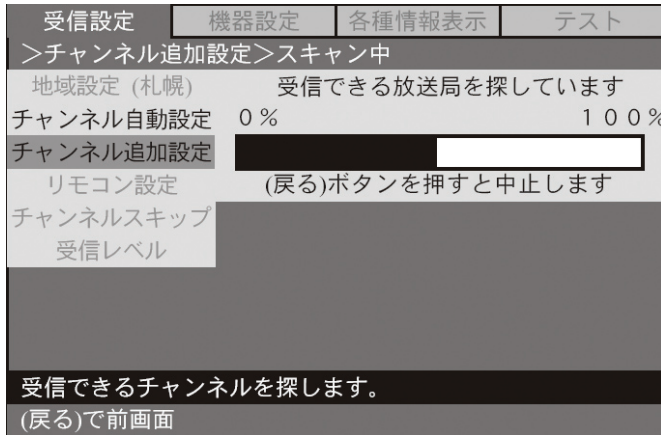
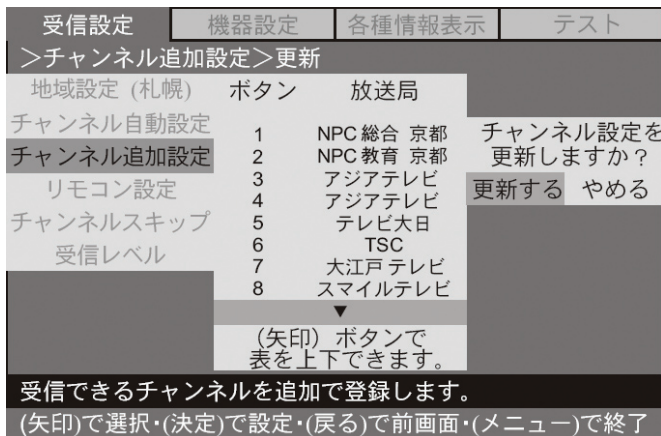
［探す（全チャンネル）］では放送波のスキャンは UHF13-62ch と、CATV(C13-C63) の範囲で行なわれます。

地上デジタル放送波が見つからなかった場合や、アンテナ線が接続されていない場合
「やめる」を選択します。正常に放送波を受信できる状態で、もう一度スキャンを行ってください。

受信放送波が見つからなかった場合、「見つかりませんでした」と表示されます。

チャンネルを追加する

すでに登録されているチャンネルと放送局に加え、新たにチャンネルと放送局を追加します。

[TV メニュー] ボタンでメニューを表示し、[受信設定] から [チャンネル追加設定] を選び、[決定] を押します。[探す (全チャンネル)] を選び、[決定] を押します。
自動的にチャンネルを追加設定をするために、スキャンが始まります。

スキャンが終了するまでしばらくお待ちください。

スキャンが終了すると [更新する] か [やめる] かを選択するよう聞いてきます。
[更新する] を選び、[決定] を押します。

放送波のスキャンは UHF13-62ch と CATV (C13-C63) の範囲で行なわれます。

地上デジタル放送波が見つからなかった場合やアンテナ線が未だ接続されていない場合
「やめる」を選択します。正常に放送波を受信できる状態でもう一度スキャンを行ってください。

受信放送波が見つからなかった場合、「見つかりませんでした」と表示されます。

受信レベル

本機が地上デジタル放送波を正しく受信できているか受信レベルの状態を計ります。
［TV メニュー］ボタンでメニューを表示し、［受信レベル］を選び［決定］を押します。

放送局リストが表示されます。受信レベルを確認したい放送局を［↑］［↓］ボタンで選び、
「決定」を押します。

現在、本機が受信している放送信号の強弱状態が表示されます。

受信レベルは受信している放送波信号の強さを表し、受信レベルの数値が高いほど再生する映像の品質が高くなります。

受信レベルの目安として受信レベルが６０％以上あれば高画質な映像を楽しむことができます。

十分に受信レベルが高くても、他の原因により映像が乱れたりノイズが生じるときがあります。
アンテナから本機のテレビ端子までの信号品質が十分かどうかは、専門業者または販売店にご相談ください。

受信設定　機器設定　各種情報表示　テスト
>受信レベル
地域設定（札幌）
チャンネル自動設定
チャンネル追加設定
リモコン設定
チャンネルスキップ
受信レベル

表示するチャンネルを選んでください

ボタン	3桁CH		物理CH
3	031	NPC 総合・博多	28
4	041	PKH全日放送	30
5	051	TSC博多放送	32
7	071	Tv10九州放送	26
8	081	TNBテレビ西放送	26
--	--	（物理CH指定）	--

アンテナの受信レベルを表示します。
(矢印)で選択・(決定)で設定・(戻る)で前画面・(メニュー)で終了

ボタン番号の割り当てのない特定の放送局の受信レベルを計るときは、［物理ＣＨ指定］を選び、計りたい放送局の物理チャンネル番号を入力し［決定］を押します。

チャンネル番号の設定

チャンネル番号と放送局の対応登録を行ないます。

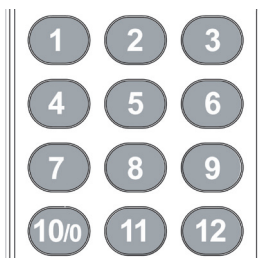
[TV メニュー] ボタンでメニューを表示し、[リモコン設定] を選び、[決定] を押します。

現在、割り当てられているリモコンのボタン番号と放送局が表示されます。

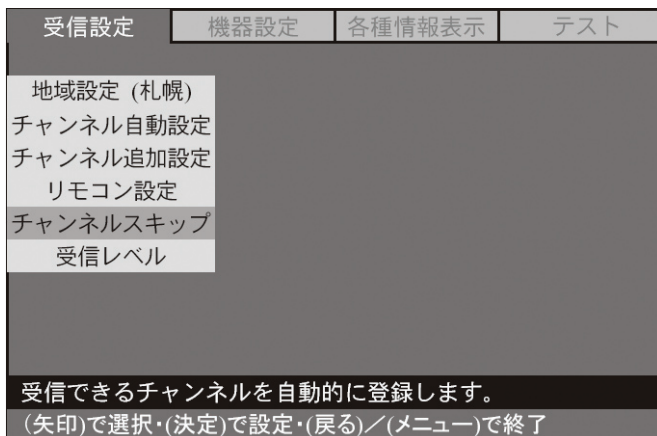
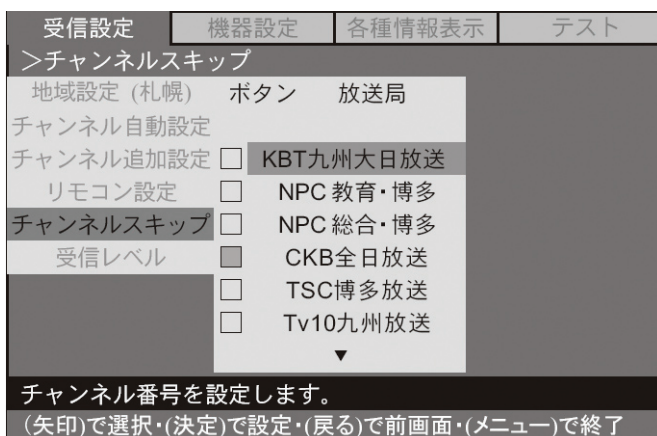
この番号はリモコンでチャンネルを変えるときのボタン番号で、チャンネルを変えたとき
画面にの右上に表示される番号（大きい方の番号）です。

リモコンの 1 から 12 番までのボタンへ放送局を割り当てることができます。

リモコンのボタン番号に割り当てる放送局を変更する場合は、
割り当てたい番号を [↑][↓] ボタンで選び、[決定] を押します。

選んだリモコンのボタン番号に割り当てたい放送局を [↑][↓] ボタンで選び、
[決定] を押します。

割り当てることのできる放送局のボタン番号は、1 から 12 までの数字に限られます。

チャンネルスキップ

視聴しない放送局チャンネルをスキップして、次の有効なチャンネルまで飛び越す設定を行います。
[TV メニュー] ボタンでメニューを表示し、[チャンネルスキップ] を選び、[決定] を押します。

[↑][↓] でスキップする放送局を選び、[決定] を押します。
放送局名の前の□が■に変わります。もう一度 [決定] を押すと■が□に変わりスキップはキャンセルされます。
他にも飛び越す放送局があれば、同様に [↑][↓] ボタンでスキップするボタン番号を選び、[決定] を押します。

リモコンのチャンネル [+][−] のボタンを押して放送局チャンネル変更するとき、スキップ設定したチャンネルは跳び越されます。

スキップ設定したボタン番号をリモコンで押したときは
”このボタンはチャンネル登録されていません。”と表示され、チャンネルは変更されません。
同様に放送局のチャンネル番号を 3 桁入力で入力しても”無効なチャンネル番号です。”と表示され、チャンネルは変更されません。

テレビ放送をみる

電源を入れ、[入力切替] ボタンでメニューを表示し、[テレビ] を選び [決定] ボタンを押します。

あらかじめアンテナ接続、受信設定、チャンネル番号の設定を行ってください。

チャンネルの切り替え

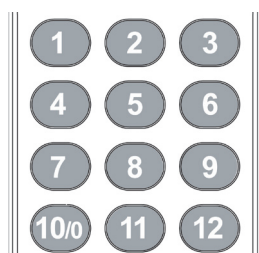
チャンネル [+][-] ボタン、または本体ボタンの [︿][﹀] で見たい放送局を選びます。

リモコン

本体ボタン

番号ボタンを押して、放送局に割り当てられた番号を入力します。

ここで入力する数字は、[チャンネル番号の設定] でリモコンの番号ボタンに割り当てられた 1 から 12 までの数字です。

チャンネル切り替え時に表示される情報

「チャンネル番号」は、放送局のチャンネル番号 (例：NHK 総合は 011) を指します。
(放送局名の上に表示される小さい数字)

リモコンの番号ボタンは、放送波信号のスキャンによってリモコンの番号ボタンに割り当てられる番号 (右端に表示される大きい数字) です。
本書では、放送局の「チャンネル番号」と、リモコンの「番号ボタン」とを別けて表記しています。またその意味も異なります。
「物理チャンネル」とは、地上デジタル放送が実際に送信されている UHF のチャンネル番号 (チャンネル 13 ～ 62) のことです。

3 桁のチャンネル番号の入力

テレビ放送を見ながらリモコンの [3 桁入力] ボタンを押します。
この方法で入力する 3 桁の番号は放送局の「チャンネル番号」です。

リモコンの数字ボタンを押して 3 桁の数字を入力します。
0 の入力は [10/0] ボタンを使います。

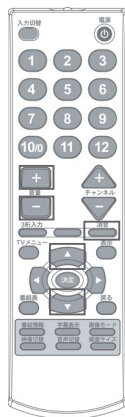
例：　チャンネル番号　234　を入力するときは
［3 桁入力 ］ →　［2］　－ 3 秒以内→　［3］　－ 3 秒以内→　［4］

例：　チャンネル番号　012　を入力するときは
［3 桁入力 ］ →　［10/0］　－ 3 秒以内→　［1］　－ 3 秒以内→　［2］

受信できない放送局のチャンネル番号や、放送局に割り当てられてない番号を入力すると
”無効なチャンネル番号です。”と表示されチャンネルは切り替わりません。

音量の調整

リモコン操作で音量を調節する

リモコンの音量［＋］ボタンを押すと音が大きくなります。
リモコンの音量［－］ボタンを押すと音が小さくなります。
現在の音量が画面下に数字とバーで表示されます。

音量の範囲は　0　－　31　の間で調節できます。0 のときは無音となり音声はでません。
［ 消音 ］ボタンを押すと無音になります。
もう一度［ 消音 ］ボタンを押すと元の音量に戻ります。

本体のボタンで音量を調節する

音量の調整は、本体側面のボタンでも行うことができます。
本体の［＋］［－］ボタン

番組表・番組情報を表示する

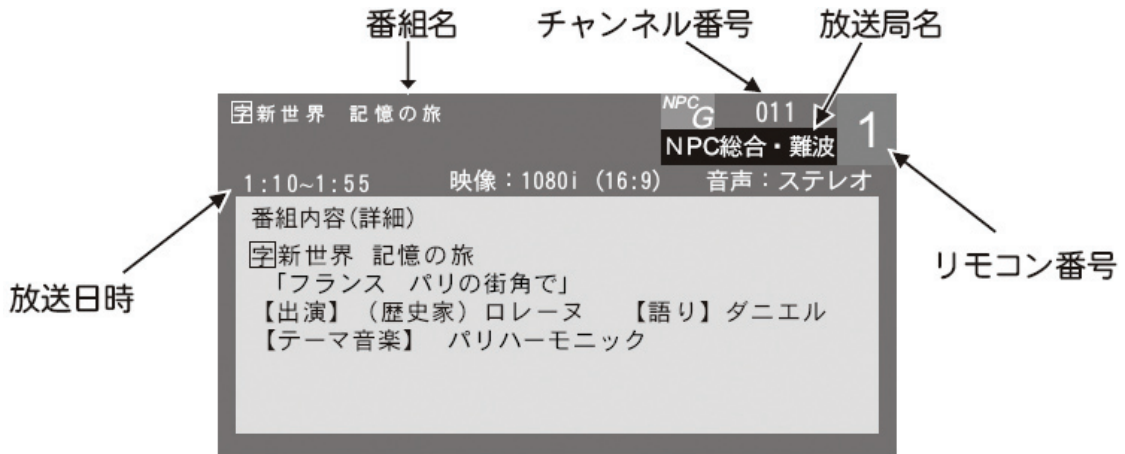
番組表

リモコンの [番組表] ボタンを押します。
画面に番組表が表示されます。

もう一度 [番組表] を押すと番組表の表示が消えます。

放送局名の下の番号は「チャンネル番号」です。リモコンのボタンの番号とは異なります。

番組情報

番組表から、[↑][↓][<][>]　で番組を選び、[番組情報] を押します。
選んだ番組の情報が表示されます。
現在見ている番組の番組情報を表示するには、そのまま [番組情報] を押します。

番組情報画面は 15 秒間表示された後、自動的に消えます。
すぐに消したいときはもう一度 [番組情報] を押すか、[戻る] を押すと番組情報の表示が消えます。
番組表で選んだ番組のところで [決定] を押すと、選んだチャンネルに切り替わります。

番組表、番組情報の表示は、情報の受信のために時間がかかることがあります。
本機が取得する番組情報の受信時間により、情報が最新の情報でない場合があります。

字幕を切り替える

字幕表示

字幕情報のある番組を見ているとき、リモコンの［ 字幕表示 ］ボタンで
字幕情報を表示したり非表示にしたり、字幕情報を切り替えることができます。

字幕なし

この字幕情報の切り替え機能は、映像情報とは別に付加される字幕情報に働きます。
番組放送から字幕情報を受信していないときは、［ 字幕なし ］と表示します。
放送局が放送する映像のなかに字幕が含まれてる場合、このボタンで字幕の切り替えはできません。
［ 字幕表示 ］ボタンで表示する字幕の設定は、［ 機器設定 ］、字幕・文字スーパー>>p 47 をご覧ください。

音声や映像を切り替える

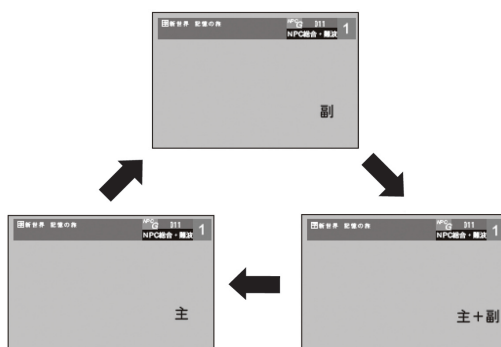
音声切替

音声多重放送の番組を見ているとき、リモコンの［音声切替］ボタンで音声を切り替えることができます。

ステレオ放送	［ステレオ］	［モノラル］	
二ヶ国語放送	［主音声］	［副音声］	［主音声+副音声］
	［第1言語］	［第2言語］	［第1言語+第2言語］

［音声切替］ボタンで切り替えることのできる音声は、受信する放送番組により異なります。
この機能の設定は［機器設定］、音声切替>>p 48 をご覧ください。

音声表示内容

放送音声	音声表示内容
二ヶ国語	主、副、主+副
ステレオ	ステレオ
モノラル	モノラル

映像切替

マルチビューなど複数の映像を放送している番組を見ているとき、リモコンの［映像切替］ボタンで表示する映像を切り替えることができます。

［映像切替］ボタンで切り替えることのできる映像は、受信する放送番組により異なります。

画像モードや画面サイズを選ぶ

画像モード

表示される画像モードを切り替えることができます。
明るめのモードにしたり、自由に設定を変えることもできます。

[画像モード] ボタンを押すごとに画像が切り替わり、画面下に現在の画像モードの名前が表示されます。

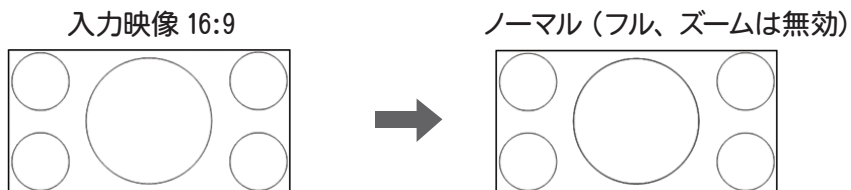
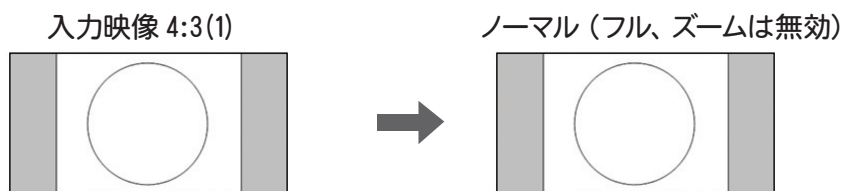
モード　標準

[画像モード] ボタンでは、以下の画像モードを選ぶことができます。

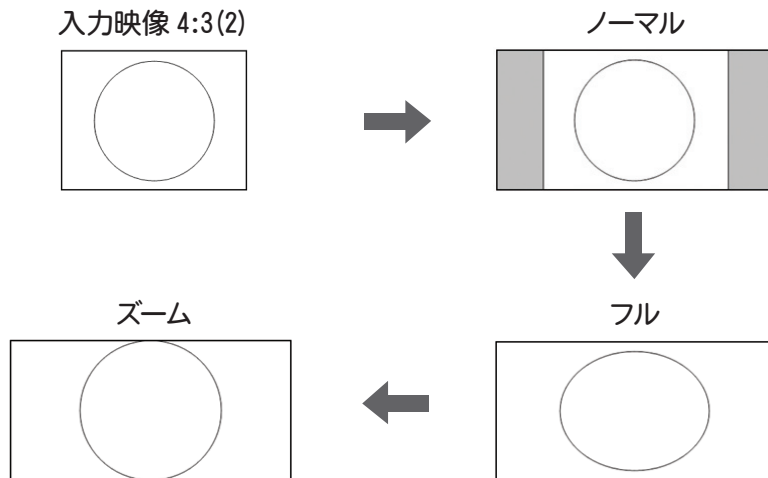
画像モード名	説明
標準	映像ジャンルにかかわらない標準的な画像設定です。
ダイナミック	迫力のある明るい映像です。
シネマ	映画やドラマを見るのに適した画像設定です。
カスタム	お好みに設定した画像が使用されます。 設定のしかたは [映像を調整する][色や明るさの調整] ＞＞p 41 をご覧ください。

画面サイズ

リモコンの [画面サイズ] ボタンで切り替えられる画像サイズ

16:9 放送

4:3 放送 (1)

放送が 4:3 映像であっても [画面サイズ] ボタンで「フル」「ズーム」が可能になるのは以下の 3 種類の放送解像度に限られます。

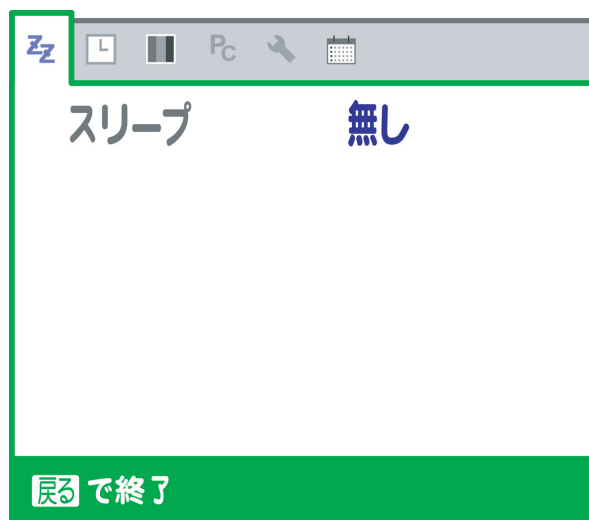
【480i 映像 (ノーマル)】： 720×480i、544×480i、480×480i

4:3 放送 (2)

スリープ機能

おやすみ前など、セットした時間が経過すると自動的に電源を切ることができます。

[本体設定] を押し OSD メニューの [ ] の内容を表示します。

[↓] を押して [スリープ] を選びます。

[<][>] で何分後に電源を切るか選びます。

お好みの分数を選び [決定] ボタンを押します。

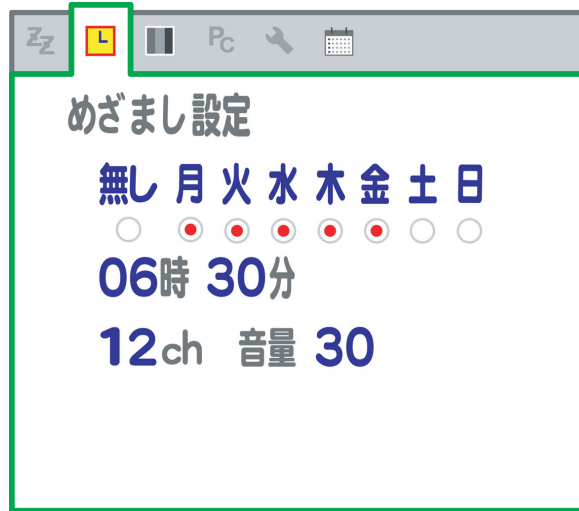
【選択できる時間】：無し、10 分、15 分、30 分、60 分、90 分、120 分

[戻る] で OSD メニュー画面を閉じて設定を終了します。

目覚まし機能

セットした時刻に自動的に電源を入れることで目覚まし時計のように使うことができます。
設定した曜日、時刻になると自動的に電源が入り、設定したチャンネルや音量で
テレビ放送をつけることができます。

[本体設定] を押し OSD メニューを表示させます。

[<][>] ボタンを押して [ ] を選び、目覚まし設定の内容を表示させます。

[↓] を押して、[無し] を青色にします。(出荷時設定では「無し」が になっています。)

[<][>] を押して曜日を選び [決定] を押し、曜日の下のマークを にします。
曜日は複数の設定ができますので、一週間分の目覚まし設定を曜日ごとに設定できます。
キャンセルするときはもう一度 [決定] を押します。 が消えます。

曜日の列の設定が終わったら、[↓] を押して 時 分 の設定を行います。
[<][>] で数値の増減、[↑][↓] で項目の移動をします。

06時 30分

目覚まし設定をしない場合は、「無し」の下のマークを にします。

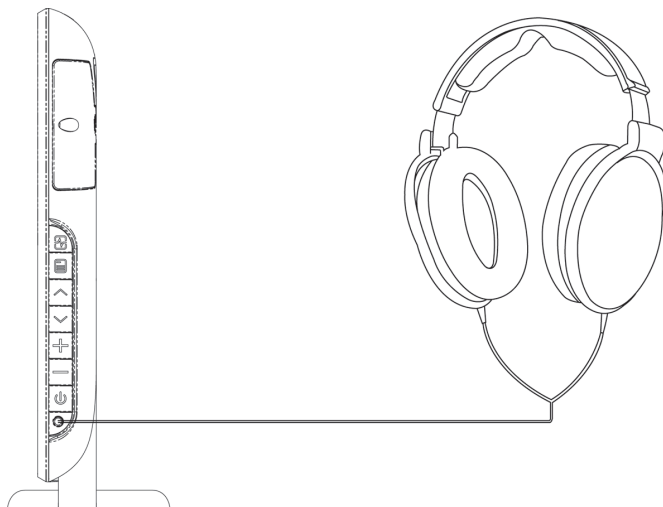
時、分の設定が終わったら、[↓] を押して、目覚まし時の、
チャンネル (0-12 のリモコンのボタン番号)、目覚まし時の音量の設定を行います。
[<][>] で数値の増減、[↑][↓] で項目の移動をします。

12ch 音量 30

[戻る] で OSD メニュー画面を閉じて設定を終了します。
設定した曜日、時、分、テレビチャンネル、音量で自動的に電源が入るようになります。

現在の日付時刻が正しく設定されているか [日付時刻の設定] のメニューを表示しご確認ください。本気の年月日時分が正しく設定されていなければ「目覚まし機能」は正しく動作しません。

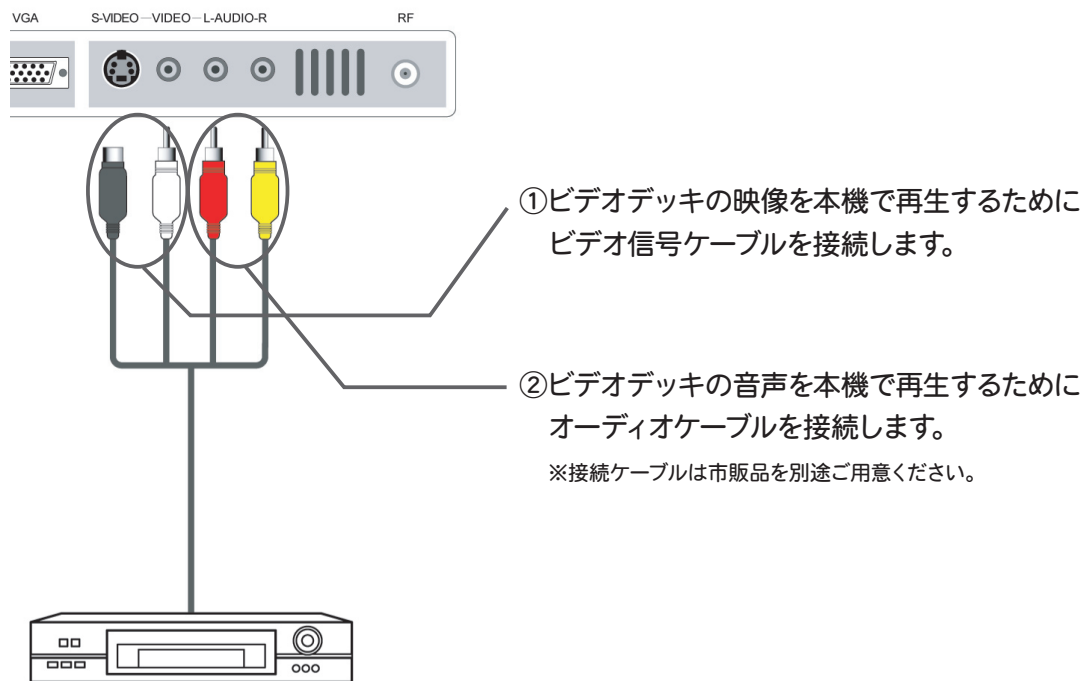
ヘッドフォンをつなぐ

ヘッドフォン端子（ステレオミニジャック 3.5mmφ）にヘッドフォンをつなぐことができます。

ヘッドフォンをヘッドフォン端子につなぐときは、いったん音量を下げてから端子に差し込み、
徐々に音量を上げてください。

ヘッドフォンで音声を聞く場合は音量を上げすぎないようご注意ください。
耳を刺激するような大音量は聴覚機能に悪影響を与える場合があります。

ヘッドフォン端子にヘッドフォンなどをつなげている間は、本体のスピーカーから音は出力されません。

ビデオデッキの映像・音声を本機で再生する

ビデオデッキと本機を接続します。
ケーブルを接続するときは、あらかじめ本機の電源を切った状態で接続してください。

接続したら本機の電源を入れ、[入力切替] を押して画面右上に入力機器メニューを表示します。
[↑][↓] で、[ビデオ] または [S ビデオ] をえらび、[決定] を押します。

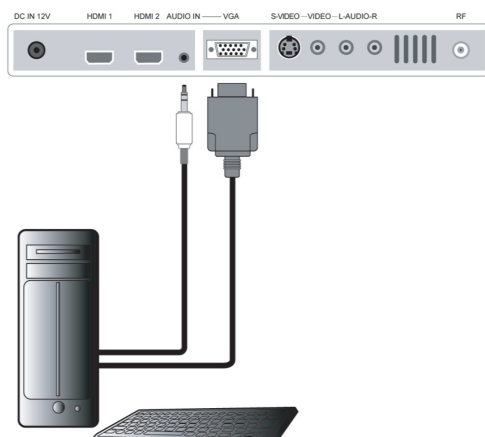
ビデオ端子に接続したときは [ビデオ] を、
S ビデオ端子に接続したときは [S ビデオ] を選択します。

画面が切り替わり、ビデオデッキの画像と音声を再生します。

パソコンの映像・音声を本機で再生する

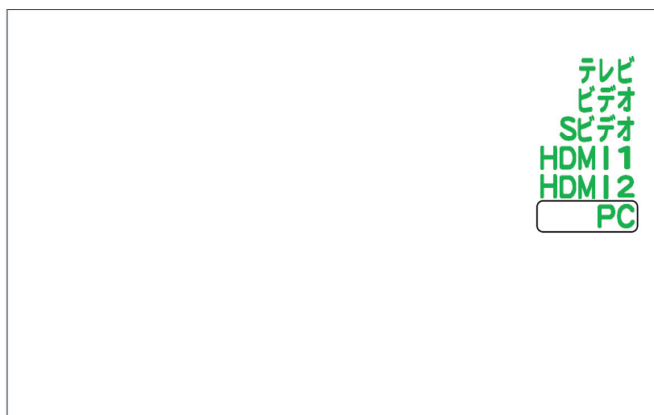
パソコンと本機を接続します。

パソコンの映像を本機で表示するために D-Sub 15pin の RGB ケーブルを本機に接続します。

ケーブルを接続するときは、あらかじめ本機の電源を切った状態で接続してください。

パソコンの音声を本機で再生するためにオーディオケーブルを本機に接続します。

接続したら本機の電源を入れ、[入力切替] を押して画面右上にメニューを表示します。

[↑][↓] で、[PC] を選び、[決定] を押します。画面が切り替わり、パソコンの画像と音声を出力します。

初めてパソコン画面に切り替えたとき、自動的に画面の位置調整が行われます。

細かい位置調整を手動で行うときは、>> p42 をご覧ください。

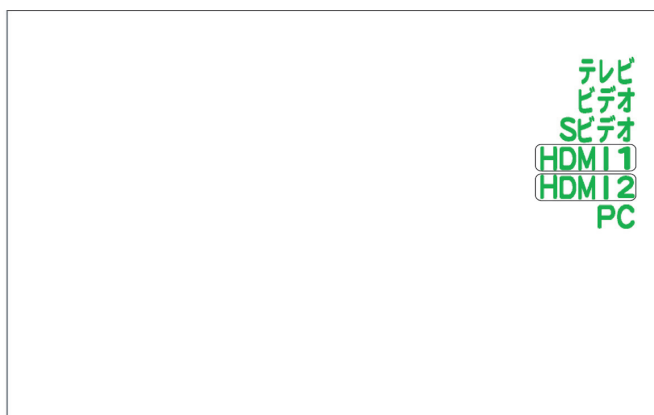
自動調整された位置は本機の電源を切るか、接続された RGB ケーブルの抜き差しが行われるまで保持されます。

接続したパソコンからの映像信号が無いときや、VGA 端子に接続されていないときに入力切替を [PC] に切り替えた場合、" 信号無し " と 5 秒間表示した後、「スタンバイ (待機)」 状態になります (電源インジケータはついたまま)。

リモコン、または本体のボタンが押されると再び起動します。

HDMI 端子付き機器とつなぐ

本機に HDMI 端子付き機器をつないで、HDMI 端子付き機器の映像･音声を楽しむことができます。
本機と本機に接続する HDMI 機器の電源を切り、 市販の HDMI ケーブルで接続します。
本機が装備する 2 つの HDMI 端子のコネクタの規格は、 HDMI Type A (19pin) です。

接続したら、本機と HDMI 機器の電源を入れ、 リモコンの [入力切替] または本体の を押してメニューを表示します。
[↑][↓] で、ケーブルを接続した背面端子に対応する [HDMI1] または [HDMI2] を選び、[決定] を押します。

画面が切り替わり、HDMI 機器の画像が表示されます。
[↑][↓] を押して [HDMI1] または [HDMI2] を選び、 [決定] を押します。

本機の HDMI 端子で見ることができる映像は、 以下のとおりです。

480i　480p　1080i　720p

本機の付属品には HDMI ケーブルは含まれておりません。別途ご用意ください。
本機が装備する2つの HDMI 端子 (HDMI1、HDMI2) は同じ機能・仕様 (HDMI Ver1.1) です。

HDMI、HDMI ロゴ及び High-Definition Multimedia Interface は HDMI Licensing LLC の登録または登録商標です。

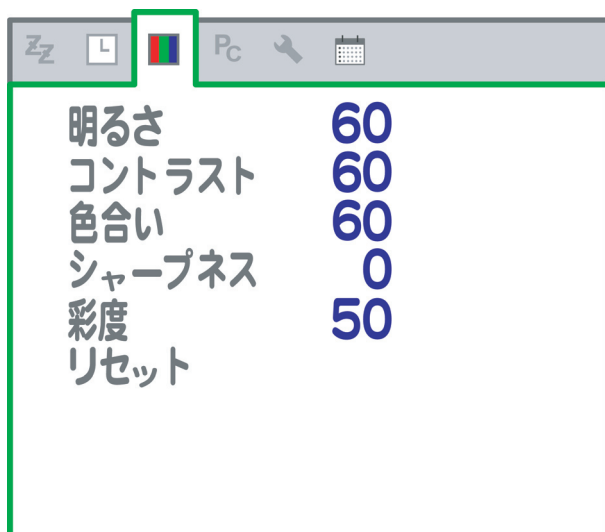
画面・画像設定

色や明るさの調整

画像の色合いや明るさを、ご使用の環境に合わせて調整します。

リモコンの[本体設定]、または本体の を押して OSD メニュー画面を表示します。

[<][>] ボタンを押して を選びます。

[↑][↓] ボタンで調整したい項目を選び、[<]、[>] で数値を変更します。

調整範囲と(初期値)は以下のとおりです。

明るさ	[0-100(60)]	画面の明暗を調整します。
コントラスト	[0-100(60)]	コントラストの強弱を調整します。
色合い	[0-100(60)]	色の濃淡を調整します。
シャープネス	[0-15(0)]	輪郭の強弱を調整します。
彩度	[0-100(50)]	顔色などの色合いを調整します。

リセットを選び、[決定] を押すと初期値に戻ります。
リセット時、パソコンが接続されているときは位置の自動調整がおこなわれます。

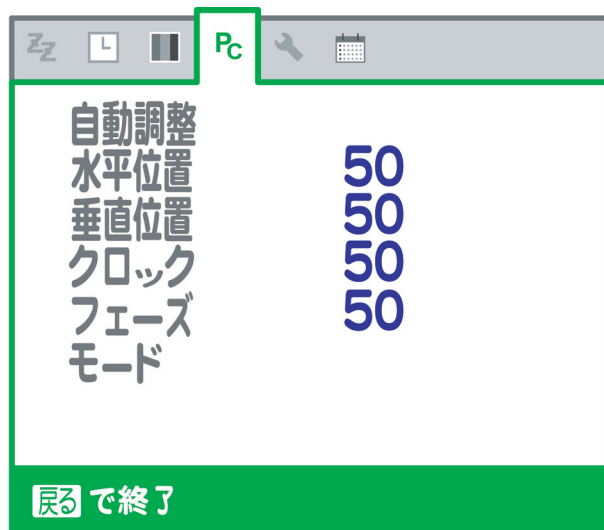
[戻る] で OSD メニュー画面を閉じ設定を終了します。

ここで調整した数値は、4 種類の画像モードのうち [カスタム] のときにだけ適用されます。
[標準]、[シネマ]、[ダイナミック] モードには適用されません。

パソコン画面の表示位置調整

リモコンの [本体設定]、 または本体の を押して OSD メニュー画面を表示します。
[<][>] ボタンを押してPCを選びます。PCの項目は、入力切替で [PC] を選択している場合のみ選択可能です。

[↑][↓] ボタンで調整したい項目を選び、[<]、[>] で数値を変更します。
調整範囲と (初期値) は以下のとおりです

自動調整	[決定] を押すと自動調整機能を開始します。
水平位置 [0-100(50)]	水平位置を調整します。
垂直位置 [0-100(50)]	垂直位置を調整します。
クロック [0-100(50)]	画面周波数を調整します。
フェーズ [0-100(100)]	自動調整値がセットされます。
モード	720 × 400 と 640 × 400 の画面を切り替えます。

[戻る] で OSD 画面を閉じ設定を終了します。

[入力切替] が [PC] になってないときは、OSD 画面の [PC] の項目はスキップされ選択できません。

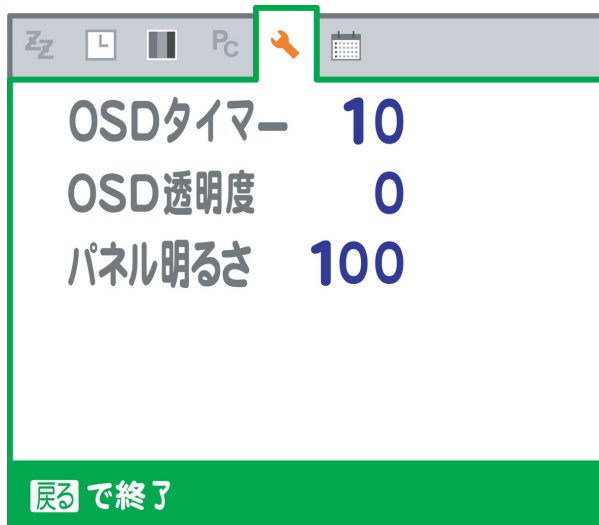
[モード] は、パソコンの BIOS 設定画面などで 720×400 または 640×400 を表示させるときに 2 つの解像度を交互に切り替え、 それ以外の解像度のときは切替は行われず何もしません。

本機の自動調整機能でほとんどの解像度入力と最適設定が自動的に行われます。
詳しい画像信号対応については本書の対応表をご覧ください。

OSD 画面の調整

［本体設定］ボタンを押したときに表示される OSD (On Screen Display) 画面の設定を行います。

リモコンの［本体設定］、または本体の ▤ を押して OSD メニュー画面を表示します。

[<][>] ボタンを押して 🔧 を選びます。

［↑］［↓］ボタンで設定したい項目を選び、[<]、[>] で数値を変更します。
調整範囲と（初期値）は以下のとおりです。

OSD タイマー	[5-60(10)]	OSD 表示が消えるまでの時間 (秒) を設定します。
OSD 透明度	[0-4(0)]	OSD 表示の透明度を 4 段階で設定します。
パネル明るさ	[0-100(100)]	液晶パネルの明るさを設定します。

［戻る］で OSD 画面を閉じ設定を終了します。

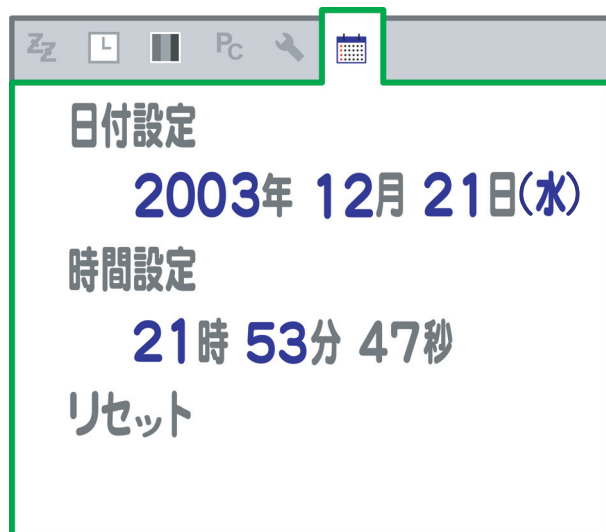
OSD タイマーの秒数は、リモコンのボタンが最後に押されてから OSD 画面が消えるまでの秒数です。
設定の途中で OSD 画面が消えたときは、［戻る］が押されたことと同じことになります。その場合はもう一度［本体設定］ボタンから消える前の画面を表示させ、設定内容を確認してから再度設定を続けてください。

日付時刻の設定

本機に現在の日付時刻を設定します。

リモコンの [本体設定]、または本体の [ ] を押して OSD メニュー画面を表示します。

[<][>] ボタンを押して [ ] を選びます。

[↑][↓] ボタンで設定したい項目を選び、[<]、[>] で数値を変更します。

日付設定の設定範囲は以下のとおりです。

(2000-2099)　年　(01-12)　月　(01-31)　日　(日 - 土)

時間設定の設定範囲は以下のとおりです。

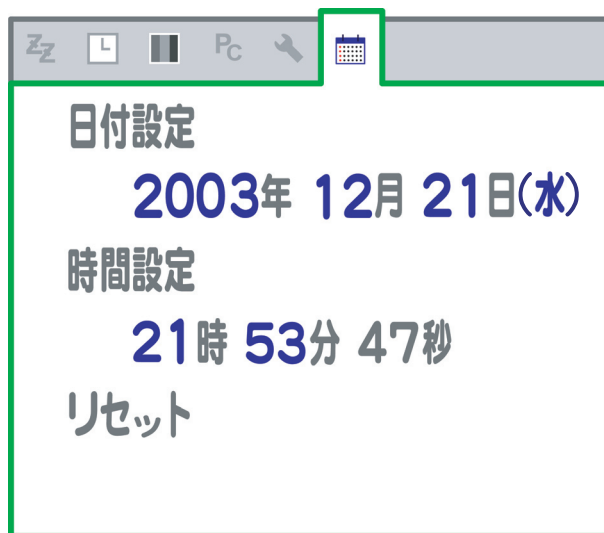
(00-23)　時　(00-59)　分 --　秒

[戻る] で OSD 画面を閉じ設定を終了します。

※時間設定の「秒」の項目は設定できません。

システムのリセット

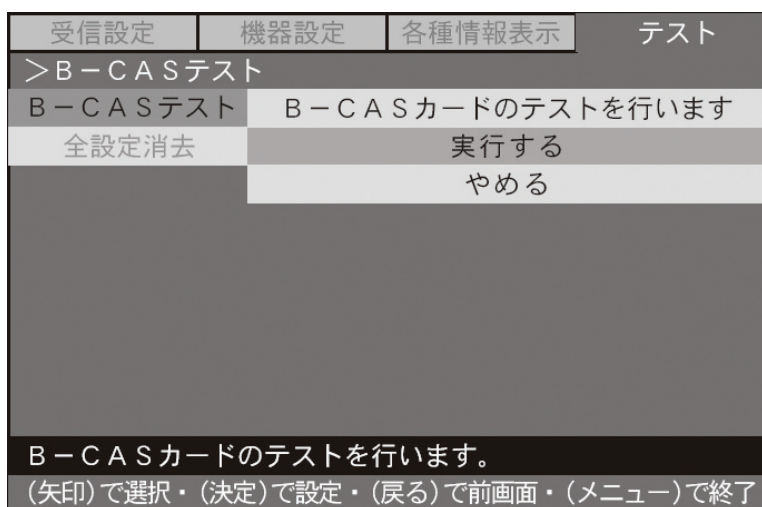
システムを出荷時の状態に戻します。
出荷時の状態に戻すと、 それまで変更した設定値は全て失われます。

リモコンの [本体設定]、または本体の [ ] を押して OSD メニュー画面を表示します。
[<][>] ボタンを押して [ ] を選びます。
[↑][↓] ボタンで [リセット] を選び、 [決定] を押します。

リセット後に変更したり、設定したデータは AC アダプタや電源プラグを抜いても失われず保持されます。

このリセットでは [TV メニュー] ボタンで設定する TV チューナーの情報はリセットされません。受信設定で得られたチャンネル情報、リモコン設定、番組情報等すべて保存されたままです。TV チューナーの情報を出荷時に戻すには「TV チューナーの全設定消去」>> p54 をご覧ください。

暗証番号の登録

設定した各種データを他者による変更から守ります。
[TV メニュー] ボタンでメニューを表示し、[<][>] で [機器設定] を選びます。
[↑][↓] ボタンで [暗証番号] を選び、[決定] を押します。

リモコンの番号ボタンを使って 4 桁の数字を入力します。
0 を入力するときは [10/0] を押します。

暗証番号は **** と表示されます。また、入力中も * と表示されます。

出荷時および初期設定は「9999」に設定されています。

字幕・文字スーパー

［字幕表示］ボタンを押したときの字幕と文字スーパーの表示設定を行います。

［TV メニュー］ボタンでメニューを表示し、［<］［>］で［機器設定］を選びます。
［↑］［↓］ボタンで［字幕・文字スーパー］を選び、［決定］を押します。

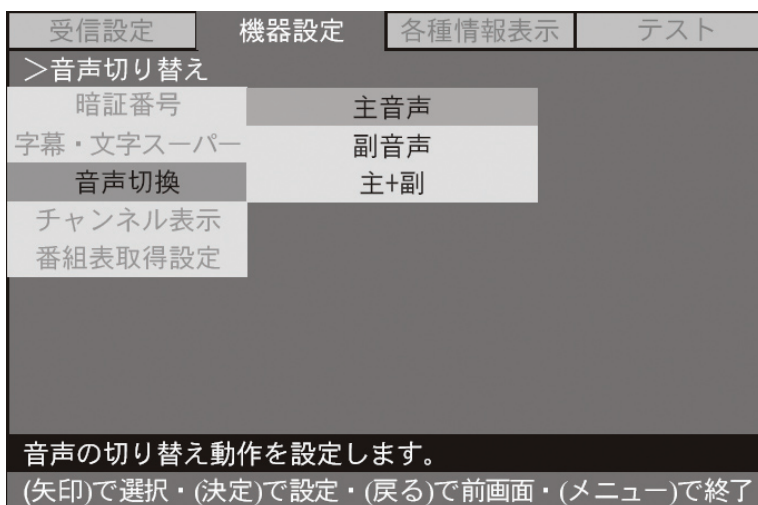
字幕表示設定の場合は、［字幕］を選んで、［決定］を押します。
リモコンの［字幕表示］ボタンを押したときに表示する字幕を、［なし］、［第1言語］、［第2言語］から選び、［決定］を押します。

文字スーパーの表示設定の場合は、［文字スーパー］を選んで、［決定］を押します。
文字スーパーの情報が付加された放送を見るときに表示する文字スーパーを、［なし］、［第１言語］、［第２言語］　から選び、［決定］を押します。

出荷時は字幕は「なし」、文字スーパーは「第１言語」になっています。

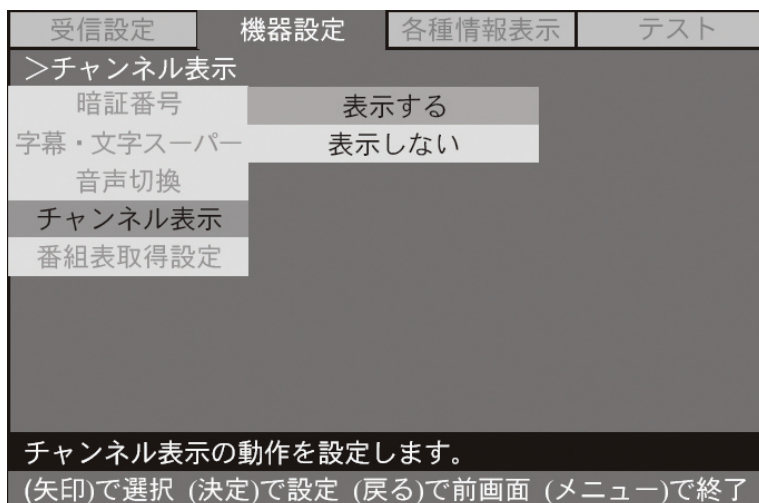
音声切替

リモコンの［ 音声切替 ］ボタンで切り替える音声を選ぶことができます。

［TV メニュー］ボタンでメニューを表示し、［<］［>］で［ 機器設定 ］を選びます。
［ ↑ ］［ ↓ ］ボタンで［ 音声切替 ］を選び、［ 決定 ］を押します。

［ 主音声 ］、［ 副音声 ］、［ 主音声+副音声 ］から選び、［ 決定 ］を押します。

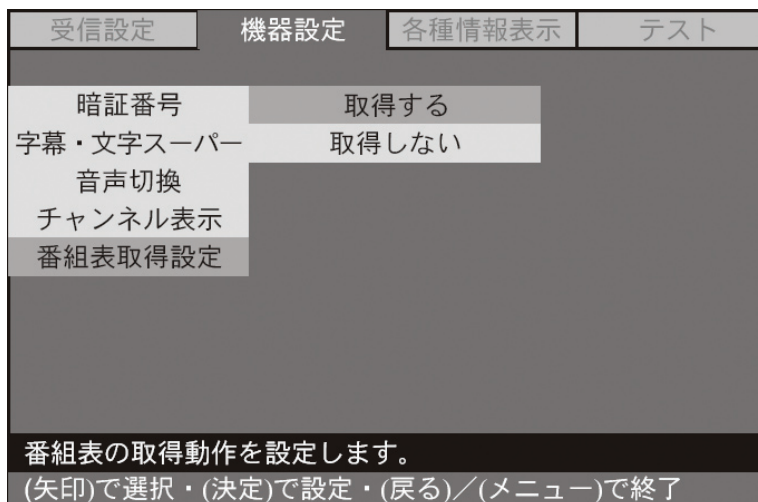
チャンネル表示

画面上にチャンネルと番組の情報を表示するか、表示しないかを設定します。
[表示する] にすると、チャンネルを変えたときや [表示] ボタンを押したときに番組名、放送時間、放送局名、チャンネル番号など各種情報を 5 秒間、画面上部に表示します。

[TV メニュー] ボタンでメニューを表示し、[<][>] で [機器設定] を選びます。
[↑][↓] ボタンで [チャンネル表示] を選び、[決定] を押します。

[表示する]、[表示しない] を選び、[決定] を押します。
出荷時の初期設定は、[表示する] になっています。

番組表取得設定

番組表・番組情報をダウンロードして取得するかしないかを設定します。

[TV メニュー] ボタンでメニューを表示し、[<][>] で [機器設定] を選びます。
[↑][↓] ボタンで [番組表取得設定] を選び、[決定] を押します。

[取得する] または [取得しない] を選び、[決定] を押します。

[取得する] にすると [番組表][番組情報] ボタンで番組表や番組情報が表示できます。
>>p 28 をご覧ください。
出荷時の初期設定は、[取得する] になっています。

B-CAS（ビーキャス）カードの情報表示

[TV メニュー] ボタンでメニューを表示し、[<][>] で [各種情報表示] を選びます。
[↑][↓] ボタンで [B-CAS 情報] を選び、[決定] を押します。

B-CAS（ビーキャス） カードの情報が表示されます。
お問い合わせの際に、これらの情報が必要になる場合があります。

地上デジタルチューナーのバージョン情報表示

[TV メニュー] ボタンでメニューを表示し、[<][>] で [各種情報表示] を選びます。
[↑][↓] ボタンで [バージョン情報] を選び、[決定] を押します。
本機に内蔵の地上デジタルチューナーのバージョン情報が表示されます。

お問い合わせの際に、これらの情報が必要になる場合があります。

放送メールの表示

地上デジタル放送にはメールの配信機能があります。
このメール機能は主に放送局からのお知らせや、本機のソフトウェア更新のためのダウンロード情報に使われます。

[TV メニュー] ボタンでメニューを表示し、[<][>] で [各種情報表示] を選びます。
[↑][↓] ボタンで [放送メール] を選び、[決定] を押します。

[↑][↓] ボタンで読みたいメールを選び、[決定] を押します。
選んだメールの内容が表示されます。
保存可能なメールの数は 10 通です。10 通を超えると一番古いものから順に削除されます。

B-CAS カードのテスト

お使いの B-CAS（ビーキャス） カードに異常がないかテストを行います。

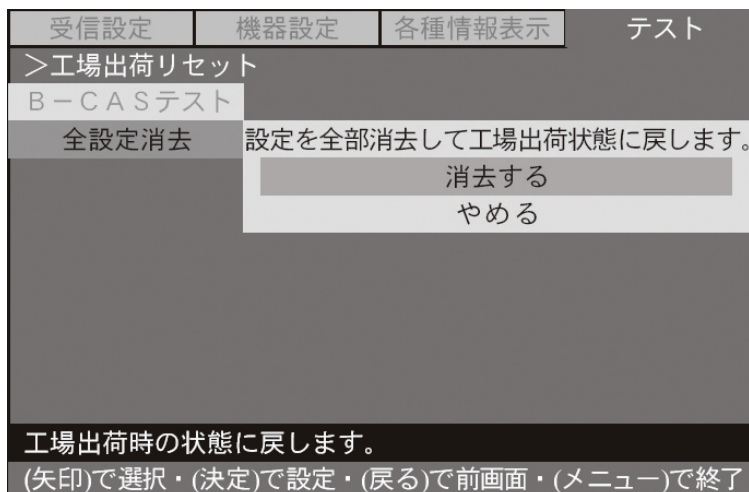
[TV メニュー] ボタンでメニューを表示し、[<][>] で [テスト] を選びます。
[↑][↓] ボタンで [B-CAS テスト] を選び、[決定] を押します。

[実行する] を選んで、[決定] を押します。

エラーが表示された場合は（株）ビーエス・コンディショナルアクセスシステムズにお問い合わせください。

テレビチューナーの全設定消去

内蔵チューナーの設定を出荷時に戻します。

[TV メニュー] ボタンでメニューを表示し、[<][>] で [テスト] を選びます。
[↑][↓] ボタンで [全設定消去] を選び、[決定] を押します。暗証番号の入力画面が表示されるので 4 桁の暗証番号をリモコンの数字ボタンで入力します。

[消去する] を選んで、[決定] を押します。

この全設定消去の機能は、本機内蔵のデジタルチューナーに対して行なうものです。
[本体設定] ボタンで表示される OSD メニューで設定された内容は保持されます。
スリープ設定、目覚まし設定、画質設定、OSD 設定、日付時刻設定など OSD メニューで設定した内容をリセットするときは、[システムのリセット] >>p 45 をご覧ください。

ダウンロード

本機には内蔵するソフトウェアの更新や改善のため、デジタル放送波から自動的にダウンロードを行なう機能があります。ダウンロードは自動的に行われますが、そのためには本機の電源プラグが AC コンセントに差し込まれ給電されている必要があります。

テレビを見ている等、本機の電源を入れてご使用になっている最中にはダウンロードは行なわれません。その場合は電源ボタンで電源を切った後にダウンロードが開始されます。
ダウンロードは終了するまで数分かかります。ダウンロード中は電源プラグの抜き差しやリモコン操作、本体ボタンでの操作は行わないでください。
ダウンロード中に電源の抜き差しやボタン操作等でダウンロードを中断した場合は、ソフトウェアの更新は行なわれません。
電源を切ってダウンロードが可能な状態になったら再び最初からダウンロードを開始します。

初期設定値

本機の出荷時、および設定のリセットをしたときの初期値は以下のとおりです。

システム部初期設定値

出荷時および [本体設定] から [日付時刻] 設定を選び [リセット] を実行した場合

機能		初期値
入力切替		テレビ
チャンネル		01
音量		12
スリープ		無し
めざまし設定		無し
	時	00
	分	00
	ｃｈ	01
	音量	12
色調節	明るさ	60
	コントラスト	60
	色合い	60
	シャープネス	0
	彩度	50
PC	水平位置	50
	垂直位置	50
	クロック	50
	フェーズ	50
OSD タイマー	OSD タイマー	10
	OSD 透明度	0
	パネル明るさ	100
日付時刻	年	2009
	月	01
	日	01
	曜	月
	時	00
	分	00
画像モード		標準
画面サイズ		ノーマル

画像モードのプリセット値

([本体設定] で色設定を選び [リセット] したときこの値がセットされます。)

	標準	ダイナミック	シネマ	カスタム
明るさ	60	65	55	50
コントラスト	60	70	60	50
色合い	60	65	65	50
シャープネス	0	0	0	0
彩度	50	50	50	50

チューナー部初期設定値

([TV メニュー] の [テスト] から [全設定消去] を実行した場合)

TV メニュー	機能	初期値
受信設定	地域設定	東京
機器設定	暗証番号	9999
	字幕	無し
	文字スーパー	第 1 言語
	音声切換	主音声
	チャンネル表示	表示する
	番組情報取得	取得する

本機は AC アダプタに接続した状態で電源を切っても、「スタンバイ」状態を保ち各種の設定値や状態は保持されます。
また、これらの情報は AC コンセントから電源プラグを抜いても保持されます。

保持している設定や情報を初期値に戻す場合は、システム設定の「システムのリセット」機能をご使用ください。

出力される解像度

本機をパソコンのモニタとして使用するときの対応解像度

1．本機が対応する解像度とリフレッシュレートは以下の 5 種類です。

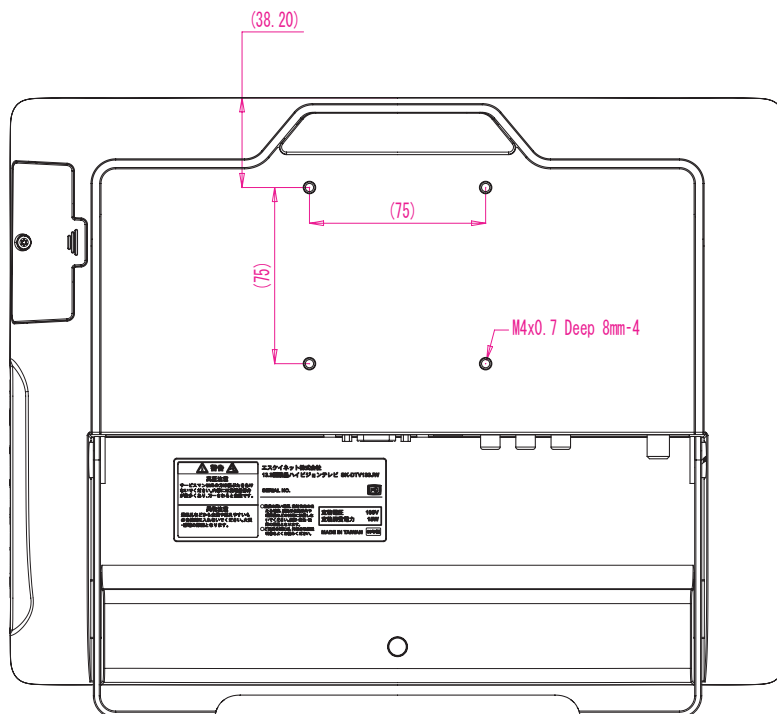
名称	ピクセル（横×縦）	リフレッシュレート	アスペクト比	本機（1280 × 800）の対応	縦横比(*)
VGA	640 × 480	60Hz，67Hz，72Hz，75Hz	4:3	縦横をいっぱいに拡げて表示	横長
SVGA	800 × 600	56Hz，60Hz，72Hz，75Hz	4:3	縦横をいっぱいに拡げて表示	横長
XGA	1024 × 768	60Hz，70Hz，75Hz	4:3	縦横をいっぱいに拡げて表示	横長
WXGA	1280 × 800	60Hz，70Hz，72Hz，75Hz	16:10	そのままいっぱいに表示	同一
SXGA	1280 × 1024	60Hz，70Hz，75Hz	4:3	縦を縮めていっぱいに表示	横長

2．パソコンのビデオ出力機能の能力により以下の表示が可能な場合もあります。

名称	ピクセル（横×縦）	リフレッシュレート	アスペクト比	本機（1280 × 800）の対応	縦横比(*)
VGA	640 × 480	60Hz，70Hz	4:3	縦横をいっぱいに拡げて表示	横長
(PEGC)	640 × 400	60Hz，70Hz	16:10	そのままいっぱいに表示	同一
	720 × 400	60Hz，70Hz	16:9	縦横をいっぱいに拡げて表示	横長
	720 × 480	60Hz，70Hz	16:9	縦横をいっぱいに拡げて表示	縦長
SVGA	800 × 600	60Hz，70Hz，72Hz	4:3	縦横をいっぱいに拡げて表示	横長
	960 × 600	60Hz，70Hz，75Hz	16:10	そのままいっぱいに表示	同一
XGA	1024 × 768	60Hz，70Hz，75Hz	4:3	縦横をいっぱいに拡げて表示	横長
	1152 × 864	60Hz，70Hz，75Hz	4:3	縦横をいっぱいに拡げて表示	横長
	1280 × 720	60Hz，70Hz，75Hz	16:9	縦を拡げていっぱいに表示	縦長
WXGA	1280 × 768	60Hz，70Hz，75Hz	16:9	縦を拡げていっぱいに表示	縦長
WXGA	1280 × 800	60Hz，70Hz，72Hz，75Hz	16:10	そのままいっぱいに表示	同一
	1280 × 960	60Hz，70Hz，72Hz，75Hz	4:3	縦を縮めていっぱいに表示	横長
SXGA	1280 × 1024	60Hz，70Hz，75Hz	4:3	縦を縮めていっぱいに表示	横長
WSXGA	1280 × 854	60Hz，70Hz	3:2	縦を縮めていっぱいに表示	横長
FWXGA	1366 × 768	60Hz，70Hz	16:9	横を縮め縦を拡げていっぱいに表示	縦長
SXGA+	1400 × 1050	60Hz，70Hz	4:3	縮小して画面いっぱいに表示	横長
WXGA+	1440 × 900	60Hz，70Hz，75Hz	16:10	縮小して画面いっぱいに表示	同一
	1440 × 960	60Hz，70Hz	3:2	縮小して画面いっぱいに表示	横長
	1440 × 1080	60Hz，70Hz	4:3	縮小して画面いっぱいに表示	横長
	1600 × 900	60Hz，70Hz	16:9	縮小して画面いっぱいに表示	横長
	1600 × 1024	60Hz，70Hz	16:10	縮小して画面いっぱいに表示	同一
UXGA	1600 × 1200	60Hz，70Hz，75Hz	4:3	縮小して画面いっぱいに表示	横長
WSXGA+	1680 × 1050	60Hz	16:10	縮小して画面いっぱいに表示	同一
	1920 × 1080	60Hz	16:9	縮小して画面いっぱいに表示	縦長
WUXGA	1920 × 1200	60Hz	16:10	縮小して画面いっぱいに表示	同一
	1920 × 1440	60Hz	4:3	縮小して画面いっぱいに表示	横長

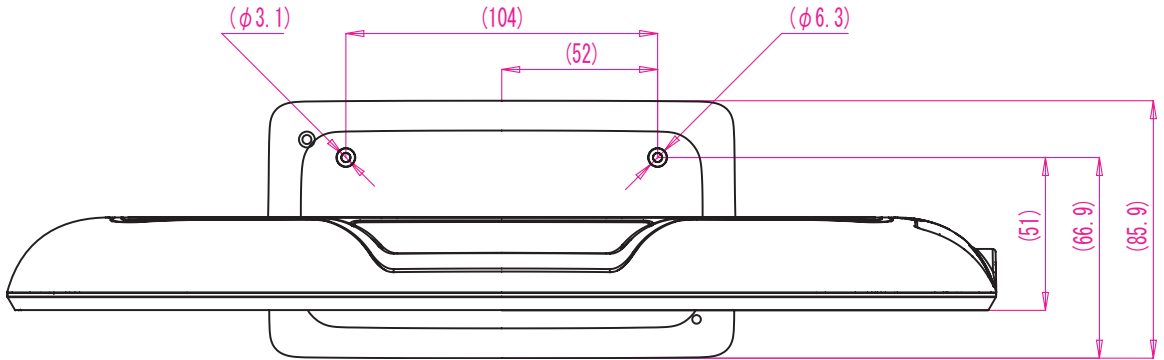
(*) 縦横比・・・縦と横の長さが1：1のパソコンの映像を本機に出力するとき、本機で表示する縦横の関係です。

壁掛け TV やディスプレイアームに取り付ける

本機は壁掛けテレビやディスプレイアームに装着できるよう本体背面にネジ穴を4つ、本体脚部のスタンド板にネジ穴を2つ、用意しています。
本体背面のネジ位置と仕様は以下の図のとおりです。　（単位 :mm）

本体背面の 4 つのネジ穴の位置：　75mm 間隔の正方形 (VESA 75mm)
本体背面の 4 つのネジ穴の仕様：　M4 × 0.7　深さ 8mm

アームに取り付けるときは、アーム付属の M4 × 8 タイプのネジをご使用ください。
詳しくはご使用のアームの説明書をご覧ください。

ご使用のアームに付属のネジの長さが長過ぎるときは、本機ネジ穴の深さ 8mm に合うネジに換えるかワッシャやナット等を挟んで調節してください。
無理にネジ穴より長いネジを絞め込むと本機が破損し故障の原因となります。

スタンド部のネジ穴の位置と径は、以下の図のとおりです。　（単位 :mm）

壁などに取り付けるときやアームに装着するときは、本機脚部のスタンド板を外してください。
スタンド板裏面の３本のネジを取るとスタンド板が外せます。

スタンド板の 2 つのネジ穴は、動揺する場所等で本機をご使用するとき滑りや転倒を防止する必要があるときにご使用ください。

地上デジタル放送の種類

地上デジタル放送には以下の 4 種類があり、いずれも本機でご覧いただけます。

	デジタル ハイビジョン放送	デジタル ハイビジョン放送	プログレッシブ放送	通常放送
放送種別	1125i(1080i) 放送	750p(720p) 放送	525p(480p) 放送	525i(480i) 放送
走査線数	1125 本 (有効 1080 本)	750 本 (有効 720 本)	525 本 (有効 480 本)	525 本 (有効 480 本)
走査方式	インターレース	プログレッシブ	プログレッシブ	インターレース
縦横比	16:9	16:9	16:9、 4:3	16:9、 4:3

デジタル放送の各種サービスと本機の対応は以下のとおりです。

サービス種	本機の対応
ＨＤ画質	標準画質 (SD) で表示。 HD 画質での表示には対応しておりません。
ケーブルテレビ方式	パススルー
データ放送	未対応
双方向データ放送	未対応
番組表 (ＥＰＧ)	対応
字幕・字幕スーパー	対応

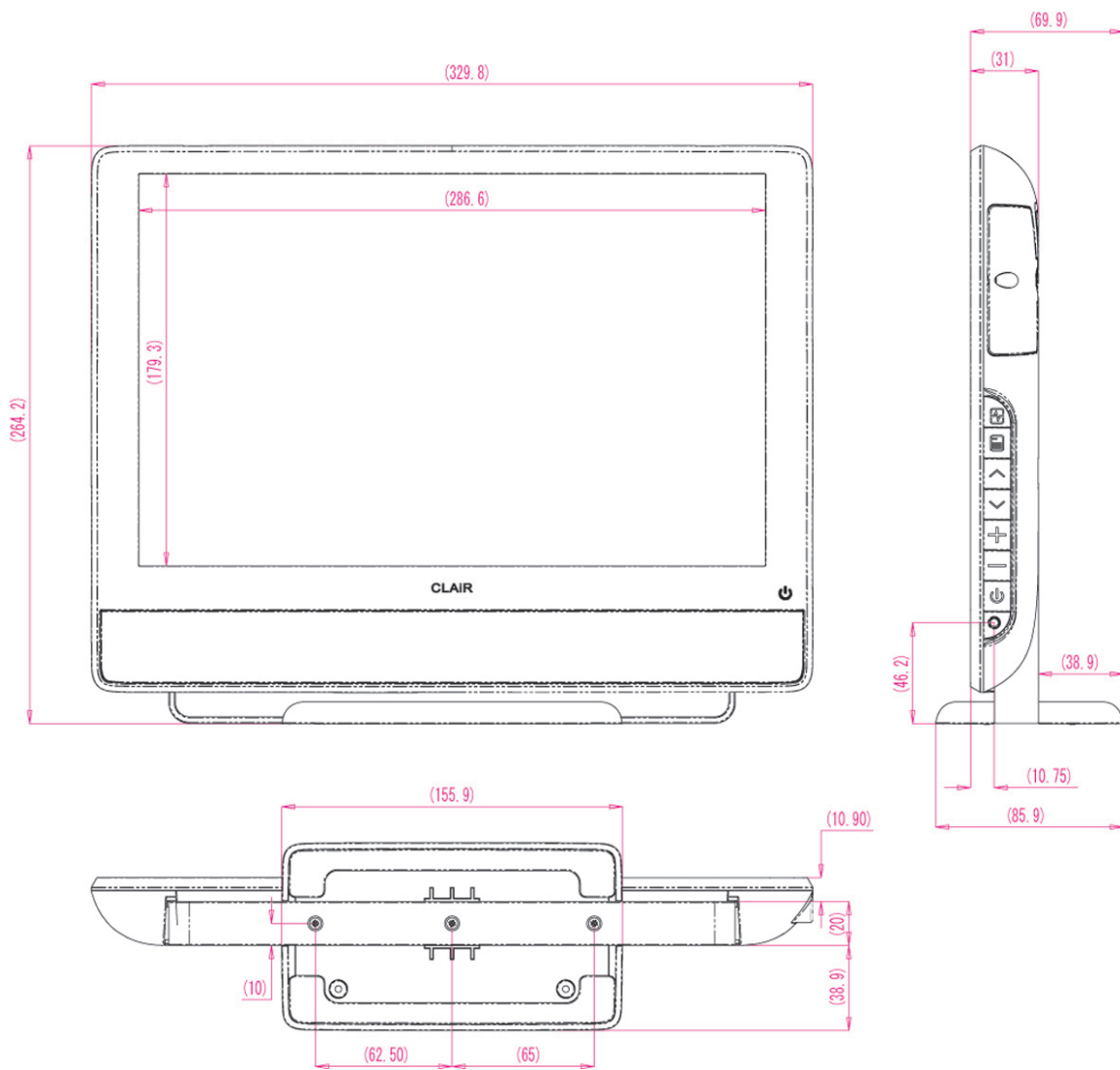
故障かな?と思ったときは

アフターサービスをご依頼になる前に、次の点をお調べください。

症状		原因と対処
電源	電源が入らない。	原因：ACアダプタまたは電源プラグが抜けている。 対処：ACアダプタまたは電源プラグをしっかり差し込む。
	画面が自動的に消えた。	原因：スリープ機能が働いた。 対処：電源を入れなおしスリープ設定を確認する。
		原因：本体のタッチセンサーの電源ボタンに触れた。 対処：電源を入れなおす。
テレビ	放送が受信できない。	原因：B-CASカードが正しく入っていない。 対処：B-CASカードを正しく差し込んでください。
		原因：アンテナが正しく接続されてない。 対処：アンテナ線を本機に接続してください。
		原因：受信設定を行なってない。 対処：本書に従って受信設定を行なってください。
		原因：お住まいの地域が地上デジタル放送の放送圏ではない。 対処：地域の地上デジタル放送の状況をご確認ください。
		原因：ご使用の共同視聴設備が地上デジタル放送に対応していない。 対処：ＣＡＴＶの場合はご契約のＣＡＴＶ局、または共同視聴設備の管理者にお問い合わせください。
	引越しをしたら受信できなくなった。	原因：引越しの後、その地域の受信設定を行なってない。 対処：もう一度、本書に従って受信設定をやり直してください。
	画面に縞模様がでる。	原因：近くのパソコン、ゲーム機、ビデオ、アマチュア無線機などからの電波干渉が考えられます。 対処：アンテナ線を、干渉電波発生機器のケーブルや電源コードからできるだけ離してください。
	画面に斑点がでる。	原因：自動車、バイク、掃除機、高圧線など、付近で発生するノイズが原因と考えられます。 対処：アンテナの位置をノイズの発生源から遠ざけてください。
	映像がざらざらしてはっきり映らない。	原因：アンテナの向きがずれている。 対処：受信レベルが高くなるようアンテナの向きや高さやアンテナの取り付け位置を変えてください。

症状		原因と対処
テレビ	番組表に空白がある。	原因：番組表情報が取得されてない。 対処：空白のあるチャンネルに切り替えてから [番組情報] ボタンを押してください。
		原因：番組表取得設定が、[取得しない] になっている。 対処：番組表取得設定を、[取得する] に設定してください。
他機器との接続	画像や音声がでない。	原因：入力切替が正しくない。 対処：入力切替を接続された機器に正しく切り替えてください。
		原因：外部機器と本機が正しく接続されてない。 対処：外部機器からの映像・音声のケーブルを正しく接続する。パソコン (RGB) やビデオデッキの音声をだすには、映像ケーブルとは別にオーディオケーブルの接続が必要です。
リモコン	ボタンを押しても反応がない。	原因：リモコンの電池が消耗している。 対処：乾電池を新しいものに換えてください。
		原因：受光部に直射日光など強い光が当たっている。 対処：受光部に強い光が当たらないようにしてください。
		原因：受光部とリモコンとの角度が付きすぎている。 対処：受光が可能な正面から 30 度以内の角度でご使用ください。
		原因：受光部から遠すぎる。 対処：受光が可能な 3m 以内でご使用ください。
		原因：電源を切った直後である。 対処：電源ボタンで電源を切っても、本機の電源が完全に切れるまで数秒かかります。再び電源を入れるときは数秒（約 5 秒が目安）待ってから電源ボタンを押してください。
		原因：静電気や強いノイズ等によって一時的に動作しなくなっている。 対処：電源ボタンで電源を切るか、AC コンセントから電源プラグを抜いて一度電源を切って、再び差し込んで電源を入れてみる。

寸法図 （単位：mm）

(329.8)
(286.6)
(179.3)
(264.2)
CLAIR
(69.9)
(31)
(46.2)
(38.9)
(10.75)
(85.9)
(155.9)
(10.90)
(20)
(10)
(38.9)
(62.50)
(65)

本体仕様

種類		液晶テレビ
型名		SK-DTV133JW
受信チャンネル		地上デジタル: UHF(13-62)、CATV パススルー対応 (C11-63)
液晶パネル	素材	13.3 インチ (WXGA) グレア液晶パネル
	駆動方法	TFT アクティブマトリックス
	画素数	1280 × 800
	応答速度	20ms(Typical)
	視野角	左右約 90°、上下約 50° ※標準値
	最大輝度	300cd/m³
	コントラスト比	600:1(Typical)、300:1(Minimum)※ 標準
音声出力		3W + 3W (4 Ω)
音声入力	ビデオ	RCA ピンジャック(ステレオ) × 1 組 (ビデオ、S ビデオ共用)
	PC	3.5mm φステレオミニジャック × 1
入力端子	アンテナ端子	F 型同軸コネクタ (75 Ω) × 1
	ビデオ映像入力	VIDEO(RCA ピンジャック) × 1
	S ビデオ映像入力	S- 端子 (ミニ DIN-4Pin) × 1
	HDMI 入力 対応解像度	HDMI コネクター端子 × 2 HDMI(Ver1.1)、480i、80p、720p、1080i DVI-HDMI、640 × 480@60Hz、800×600@60Hz、 1024x768@60Hz、1280 × 800@60Hz、1440×900@60Hz
	PC 入力	RGB(D-Sub 15pin) × 1
入力端子	DC 電源	専用 AC アダプタ用 2.5mm φ DC ジャック、12V 3A
出力端子	ヘッドフォン	3.5mm φステレオミニジャック × 1
	AC アダプタ	入力:AC 100V 出力:DC12V、3A
電源		AC 100V、50/60Hz 共用
消費電力		テレビ視聴時:約 15W、待機時:約 3.6W、 機能動作時 (*):約 15W
外形寸法	幅×高さ×奥行	329.5mm × 264.5mm × 84.8mm (液晶部厚 31mm)
	質量	約 1.5kg(スタンド含む)
リモコン	電源	単四形乾電池 (1.5V) × 2
	幅×高さ×奥行	56mm(W) × 185mm(H) × 26mm(D)
	質量	92g (電池含まず)
使用条件		周囲温度 0℃ -40℃、相対湿度 20%-80% 結露のないこと
スタンド角度調節範囲		0° - 30°

外観、仕様等は予告なく変更することがあります。
(*) 番組表情報の取得時、ソフトウェア等のダウンロード時

本製品は、RoHS(*1) 指令に対応しています。また、J-Moss(*2)(電気・電子機器の特定化学物質の含有表示方法) にて規定されている特定化学物質の含有率が基準以下であることを示す「J-Moss (グリーンマーク)」に適合しています。

RoHS

(*1) RoHS:Restriction of the use of certain Hazardous Substances.
EU (欧州連合) で通信機器、家電などで特定有害物質 (6 物質群) の使用禁止を定めた RoHS 指令が 2006 年 7 月から施行。
(*2) J-Moss:電気・電子機器の特定化学物質の含有表示方法について規定した日本工業規格 (JIS C 0950)。

この装置は、情報処理装置等電波障害自主規制協議会(VCCI)の基準に基づくクラスB情報技術装置です。この装置は、家庭環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。
取扱説明書に従って正しい取り扱いをして下さい。

商品の保証について

1. 保証期間はお買い上げ日より１年間です。
2. 保証書には、お買い上げ日、お客様のご住所、お名前、電話番号、シリアル番号をご記入いただき、修理の際にご提示ください。また、保証書の字句を書き換えられた場合は有料修理とさせていただきます。
3. 万一保証書を紛失された場合、有料修理となる場合があります。保証書は大切に保管ください。
4. 取扱説明書および本体に印刷された注意事項に従った正常なご使用状態で、保証期間中に故障した場合は、無料修理させていただきます。
5. 下記の場合は、保証期間中であっても有料修理となりますのでご注意ください。また、場合によっては修理をお受けできない場合がございます。
   ①保証書のご提示がない場合。
   ②保証書にお買い上げ年月日、お名前、販売店名の記入がない場合。
   ③火災、地震、風水害、落雷、塩害、ガス害、異常電圧および、その他の天災による故障並びに損傷。
   ④鼠虫害による故障。
   ⑤ご使用中の誤り、および不当な修理や改造・分解による故障並びに損傷。
   ⑥お買い上げ後の落下、および輸送上の故障並びに損傷。
   ⑦取扱説明書および本体に印刷された注意事項に従っていないことによる故障および損傷。
   ⑧一般的な使用以外に使用された場合の故障並びに損傷（本書 P1 の「安全上のご注意」をご参照ください）。
   ⑨故障の原因が本製品以外の他製品等にある場合。
6. 無料修理および保証は、日本国内に限り有効です。
   This warranty is valid only in Japan.
7. 下記の場合は、無料修理の対象外とさせていただきます。
   モニターのドット欠け

※持ち込みによる修理はお受けしておりません。
※壁掛、天吊、取り外し／取り付けが困難な状態での回収・設置の場合は、別途料金が必要となる場合または対応できないことがあります。
※お客様にご記入いただいた個人情報（ユーザー登録および保証書店舗控え）は、保証期間内の無料修理対応及びその後の安全点検活動のために利用させていただく場合がございます。あらかじめご了承ください。
※修理規定は予告なく変更することがあります。
※この保証については保証書に明示した期間、条件をもとにおいて無料修理をお約束するものです。したがってこの保証によってお客様の法律上の権利を制限するものではありません。保障期間後の修理などについてご不明の場合は、お買い上げの販売店、またはエスケイネットサポートセンターにお問い合わせください。

アフターサービス

製品に関するご意見、ご質問およびユーザーサポートは下記お問い合わせ先へ、お電話または FAX でご連絡ください。お問い合わせの内容によっては、ご回答に多少お時間をいただく場合があります。あらかじめご了承ください。

エスケイネットサポートセンター

FAX ： 045-470-3609　　24 時間受付いたします。
TEL ： 045-470-3973　　13:00 ～ 17:00（土日祝日を除く）

サポートセンターへお問い合わせいただく際は、迅速に対応できるよう事前に下記内容をご確認ください。

- 品名 ： 13.3 型液晶ハイビジョンテレビ または CLAiR（クレール）
- 型名 ： SK-DTV133JW
- お客様のお名前・ご住所・ご連絡先（電話および FAX 番号）
- 症状 （症状の内容や発生する手順など、できるだけ詳しく）

サポートセンターへお問い合わせいただく前に！

故障などのトラブルについては、マニュアル P61「故障かな？と思ったときは」をご確認ください。
また、製品に関する情報や良くあるお問い合わせなどは弊社ホームページに公開しています。

http://www.sknet-web.co.jp/support

ユーザー登録について

製品に関するユーザーサポートをお受けになる際には、ユーザー登録が必要です。
ユーザー登録をされていない場合は、サポート対応をお断りする場合もございます。あらかじめご了承の上、ご登録いただけますようお願いいたします。
ユーザー登録は弊社ホームページよりご登録いただくか、製品に付属しているユーザー登録用紙に必要事項をご記入の上、下記送付先までお送りください。

エスケイネット株式会社
サポートセンターユーザー登録係

〒 222-0033
神奈川県横浜市港北区新横浜 2-17-2 フォンターナ新横浜 3 階

ユーザーサポート「FAQ」ホームページ

お客様からのよくあるお問い合わせや解決方法に関する情報を以下のホームページよりご確認いただけます。

http://www.sknet-web.co.jp/support/

商品の修理、お取扱い方法などのお問い合わせ

ホームページ　http://www.sknet-web./co.jp

エスケイネットホームページでは、製品に関する情報や良くあるお問い合わせ、修理のお手続きに関する情報などを掲載しております。
また、製品に関するお問い合わせや修理のご依頼などは、サポートセンターでもお受けしております。

エスケイネットサポートセンター

FAX ： 045-470-3609　24時間受付いたします。

TEL ： 045-470-3973　13:00 ～ 17:00（土日祝日を除く）

サポートセンターにご連絡いただく際は、迅速に対応できるように事前にお問い合わせ内容をご確認ください。
お問い合わせ内容については、マニュアル P66「アフターサービス」をご覧ください。

エスケイネット株式会社

〒222-0033 神奈川県横浜市港北区新横浜 2-17-2 フォンターナ新横浜 3F

A-DTV133JW-01-G